

令和5年度
(2023年度)

業務年報

大分県農林水産研究指導センター

令和5年度(2023年度)業務年報

目次

I	大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1	農林水産研究指導センターの組織	1
2	所属の業務・試験研究	2
3	試験研究課題の重点化と評価の徹底	3
4	情報発信機能の強化	8
5	試験研究機関の連携推進	11
6	研究員の資質向上	11
7	知的財産権の取得状況	16
8	九州大学との連携	17
9	受賞、学位取得の状況	17
10	予算概要	18
II	研究部・グループの概要	19
1	農業研究部	19
2	農業研究部水田農業グループ	27
3	農業研究部果樹グループ	31
4	農業研究部花きグループ	36
5	畜産研究部	41
6	林業研究部	47
7	林業研究部きのこグループ	52
8	水産研究部、水産研究部北部水産グループ	58

I 大分県農林水産研究指導センターの概要

1 農林水産研究指導センターの組織

平成 17 年 4 月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及に向けて研究指導體制を強化し、平成 22 年 4 月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。

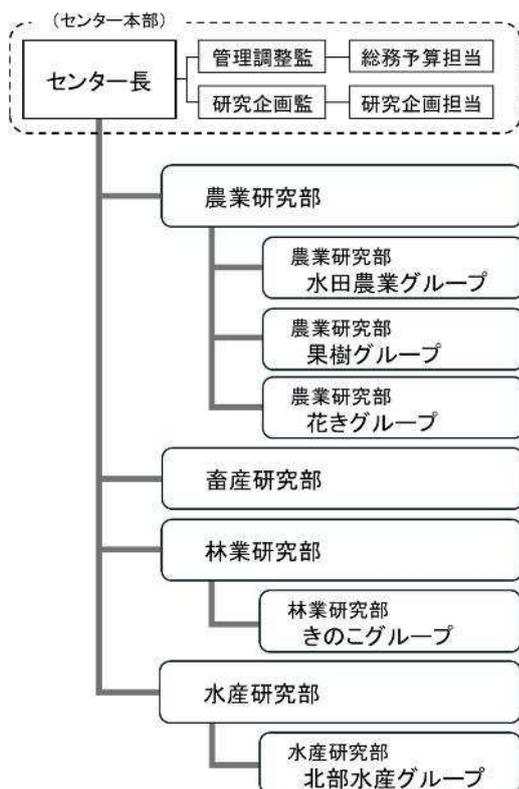
同時に、環境対策をはじめ分野を超えた課題に対し連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の 4 研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発に向け、チーム制を導入し、組織全体を統括するため、センター長・管理調整監・研究企画監・総務予算担当・研究企画担当（以下、「センター本部」という。）を豊後大野市に配置した。その後も、実情に応じ各チームの再編や名称変更等を行い、現在の組織体制に至っている。

平成 28 年 3 月には「変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発を行う」ことを基本理念として、「大分県農林水産試験研究基本指針（令和 2 年 3 月改訂）」を作成し、成果の活用先（ターゲット）を明確にして経済性を重視した研究開発を行い、農林水産業の創出額増加に寄与することとしている。

引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ普及・指導できるように、豊後大野市のセンター本部では試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、試験課題評価・成果公表、研究員の資質向上等の業務を行う。

農林水産研究指導センターの組織体系

(位置図)



農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

令和5年5月15日現在

機関	事務吏員	技術吏員					技能職員	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター(本部)	4		6			6		10
農業研究部	5	31	1			32	7	44
水田農業グループ	3	8	1			9	4	16
果樹グループ	1	14	1			15	6	22
花きグループ	1	7	1			8	3	12
畜産研究部	5	22	3			25	24	54
林業研究部	2	12	1			13	1	16
きのこグループ		5	1	2		8	1	9
水産研究部	3	17	1		6	24		27
北部水産グループ	1	10	1			11		12
合計	25	126	17	2	6	151	46	222

2 所属の業務・試験研究

所属	主な業務・研究内容
農林水産研究指導センター (センター本部)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究課題の決定調整・進行管理 ○共同研究の調整・知的財産取得・活用 ○課題評価・成果公表 ○研究員の資質向上 ○産学官交流・連携促進
農業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○未利用資源活用技術、土壌環境の改良 ○IPMに基づく病害虫防除技術、難防除病害虫等対策技術、病害虫の発生予察 ○イチゴの品種育成、栽培技術、ウイルスフリー苗の供給 ○ピーマン・トマト・ネギ・カンショ等の栽培技術 ○カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給 ○茶の栽培技術、病害虫防除技術、品種選定
水田農業グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善 ○稲・麦・大豆の優良種子生産 ○水田畑地化を実現するための技術開発 ○水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発
果樹グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術 ○カボス・中晩相等の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○ナシ・ブドウ・キウイフルーツ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術
花きグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○バイオ技術
畜産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給 ○肉用牛の飼養技術及び繁殖技術 ○乳用牛の飼養技術及び繁殖技術 ○牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策 ○豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給 ○家禽の育種並びに飼養管理技術
林業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○育種・育林技術、病虫獣害対策技術 ○木材乾燥技術、木材性能評価、木竹材製品開発 ○林業に関する研修及び現地指導
きのこグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○きのこの育種、栽培技術、病害虫防除技術 ○きのこ類の生理、分類、同定に関する研究 ○しいたけに関する研修及び現地指導
水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術 ○別府湾以南の漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術 ○海面養殖技術の開発、水産物の品質向上技術、魚介類の疾病対策
北部水産グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、海藻類の増養殖技術 ○別府湾以北の漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術 ○内水面の増養殖技術の普及指導、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術

3 試験研究課題の重点化と評価の徹底

限られた試験研究資源のもとで効率的・効果的な研究開発を進め、現地普及に結びつけていくため、試験研究課題は実用化研究と基礎調査研究に大別して整理し、実用化研究の研究期間は原則3年以内としている。

また、実用化研究の課題化については、本県農林水産業の振興や県民生活の向上などに資する試験研究とするため、国等の競争的研究資金等を除き、一般県民や生産者、関係団体などから寄せられた要望をもとに具体的な試験研究課題を設定するとともに、外部の評価員等による客観的な評価を経て、農林水産部長を本部長とする大分県農林水産部試験研究推進本部での承認をもって試験研究課題として決定している。

さらに、試験研究課題を計画的、効果的に推進するため、研究期間中は試験研究期間の進行管理を徹底するとともに、終了した事前評価対象課題は事後評価（検証）を行い、現地移転に向けた検討や研究へのフィードバックを行っている。

(1) 試験研究課題の決定及び事前評価

1) 試験研究課題調整会議 : 令和5年4月～5月開催

生産者等から寄せられた要望から県民のニーズや政策的なニーズを分析し、試験研究として取組可能な要望課題の絞り込みを行うため、4研究部5グループ（以下、「所属」という。）単位で開催した。

2) 試験研究課題検討会 : 令和5年6月～7月開催

試験研究課題調整会議で絞り込んだ要望課題をもとに作成した試験研究計画について、現場ニーズや政策ニーズに合致した内容とするため各所属単位で開催し、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

検討の結果、20課題について事前評価を受けることとした。

3) 試験研究課題評価会議（事前評価） : 令和5年9月1日開催

大分県農林水産部外部評価委員会委員（有識者、学識経験者、流通関係者、生産者代表）、外部団体評価員及び農林水産部試験研究推進本部評価員をもって構成する試験研究課題評価会議による事前評価を行った。

評価の結果、総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題を令和6年度予算要求課題候補にすることとしており、今回、事前評価を受けた20課題はすべて総合得点が60点以上であった。

4) 大分県農林水産部試験研究推進本部長による承認 : 令和5年10月6日承認

全20課題について、令和6年度予算要求候補課題として大分県農林水産部試験研究推進本部長（農林水産部長）による承認を受けた。

令和6年度予算要求候補課題（20課題）

所 属	課 題 名
農業研究部	○高糖度かんしょで発生する腐敗果の低減対策技術の確立 ○みどり戦略に対応した夏秋ピーマンにおける総合防除体系の確立 ○酷暑にも負けない夏秋ピーマン産地を支援する栽培技術の確立 ○根深ネギの肥料コスト削減に向けた安定生産技術の確立
果樹グループ	○中秋節需要に応じたナシの大玉生産と新たな花粉生産技術の開発
花きグループ	○キク類、ホオズキ等における化学農薬低減防除体系の構築 ○地域に適した有望花木類の品目選定と栽培技術確立
畜産研究部	○黒毛和種雌牛における新たな繁殖性改善技術の検討 ○枝肉の品質向上を図る肥育技術の検討～全国トップレベルの肉用牛産地づくりを目指して～ ○飼料作物の適切な鶏ふん堆肥利用における農家現場への導入実証 ○牧草地の低コスト維持管理技術の検討 ○飼料価格高騰に対応した「おおいた冠地どり」の早期出荷技術の開発
林業研究部	○県産スギ大径材の利活用に関する研究 –フォーバイ材等の性能評価– ○県産スギ大径材の利活用に関する研究 –厚板原板を活用した応力除去乾燥技術の検討– ○循環型林業の確立に向けた高精度なスギ人工林適地判定マップの構築 ○低コスト循環林業の確立に向けたコウヨウザンの苗木生産・育林技術等の調査・研究
きのこグループ	○原材料高騰に対応した菌床シイタケの低コスト栽培技術の確立
水産研究部	○県産養殖ヒラメの周年安定生産に向けた耐病性系統の選抜育種 ○先端技術を用いた赤潮の監視体制の整備及び持続可能な赤潮発生抑制技術開発
北部水産グループ	○有用海藻類の増・養殖技術の開発

令和5年度 大分県農林水産部試験研究外部評価委員

分 野	委員名	役職等
有識者	大呂 興平	大分大学 経済学部地域システム学科教授
有識者	立松 洋子	(元)別府大学短期大学部食物栄養化 教授・学科長
流通関係者	長尾 喜久男	京都青果合同(株) 執行役員
流通関係者	福山 博久	イオン九州(株)食品コーディネーター部 地域・生産者支援チームマネージャー
生産者代表	(農業) 村上 枝里	株式会社村上農園 代表取締役
	(農業) 木村 房雄	ハウスみかん生産者
	(畜産) 高橋みゆき	畜産農家
	(林業) 工藤 洋一	久大林産株式会社 代表取締役
	(水産) 須川 直樹	漁船漁業者

(2) 事後評価（試験研究結果の検討）

現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、試験研究終了の翌年度に各所属単位で試験研究結果検討会を開催し、技術の普及実績と今後の普及計画等について検証した。

令和5年度事後評価課題（令和4年度終了課題）（17課題）

	課題名	研究成果
農業	農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術構築	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントローダとマニュアルスプレッダーを用いた省力的な散布方法の確立 ・夏秋ピーマンにおける斑点病の病害抑制効果の解明 ・露地野菜の適正評価(普及カード)
	水田畑地化圃場における土壌改良技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・大分式強化釜場による排水性改善効果の解明(普及カード) ・粗大有機物の大量投入による土壌物理性改善、収量増加 ・圃場の排水対策支援プログラムの開発(普及カード)
	「ベリーツ(大分6号)」の高品質安定生産技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・環境制御技術による収量向上、奇形果の改善、糖度向上、糖度のばらつき軽減の解明(研究 Now) ・春先の品質が向上する収穫基準の解明
	気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・日射+飽差センサを利用した自動かん水方法の確立 ・赤外線カットフィルムによるハウス内環境改善効果の解明 ・裂果が少ない品種「麗月」における、施肥やかん水量の影響を解明
	労働力不足に対応した施設葉菜類の安定生産技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ニラの厳寒期における調製効率の良い根付深度と植付本数の解明 ・ニラの光合成速度が最大となる炭酸ガス施用濃度、温度の解明 ・小ネギのベルトプランター移植時の転炉スラグの添加による効果の解明
	水田農業の経営安定化に向けた経営最適化システムの開発	<ul style="list-style-type: none"> ・農研機構と全農が共同開発した「新 Z-BFM」を活用するための経営データ入力に必要な指標作成ファイル並びに簡易操作マニュアルを作成
	大規模経営体に対応した麦類の高速播種システムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーハローによる耕耘・畦立・播種作業を同時にできる装置の開発 ・GNSS ガイダンスと自動操舵装置の組み合わせで作業効率の向上を実現
	県南地域に適した中晩柑の高品質生産技術の確立及びオリジナル品種の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・マルドリ方式の導入による施肥や灌水体系の開発(普及カード) ・水腐れ等に対する被膜剤等利用の検討(普及カード) ・オリジナル品種の開発
	ナシの作業性に優れた「改良流線型仕立」栽培法と側枝発生促進技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・「改良流線型仕立」の開発による樹勢強化と作業性の向上(普及カード) ・側枝発生促進技術の開発
	ブドウの高収量栽培、早期成園化技術と新品種の安定生産技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・2段仕立てによる高収量栽培技術、早期成園化技術の確立 ・貯蔵技術の開発(普及カード)(研究 Now) ・着色優良黒系ブドウの安定生産技術の確立
	水田畑地化に対応したホオズキ栽培体系の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・露地における草マルチによる泥はねの軽減効果を数値化 ・短茎ホオズキの簡易雨よけハウス栽培による高品質化を確認 ・8月出荷作型に適した実生苗の育苗期間と切り花の特性を確認
	トルコギキョウ夏秋産地拡大のための栽培技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・緩効性肥料(70日タイプ)を用いた栽培技術を確立した。 ・太陽光 LED は「ラフィング」抑制にやや効果があり、開花が早い傾向が見られた。 ・夏秋期作型に適した品種として8月開花22品種、9月開花23品種、10月開花1品種を選定した。
	県育成品種識別技術の確立と花きオリジナル品種の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県研4号、大分県研6号と他の主要カンキツ品種の識別技術を確立 ・シンクロトロン光照射により、白輪ギクの濃黄色化・芽なし、トルコギキョウの矮化、ヤマジノギクの早晩性変異、ホオズキの小型化系統が得られた。
林業	長大スパンに対応する接着重ね材の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県産スギ・ヒノキ柱材を用いて製作した長さ6～8mの接着重ね材の曲げ試験を行なった結果、日本農林規格(JAS)の基準を概ね満たすことが確認できた。(普及カード)
	乾シイタケ原木栽培の早期ほだ化技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・成型駒の多植、木片駒を接種した仮伏せ時のビニール被覆及び林内棒積伏せ込みによる早期ほだ化を確認 ・木片駒を接種した仮伏せ中のビニール開閉による1年目の単収向上を確認
	大分県の気象条件に適した乾シイタケ品種の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・種菌メーカーとの連携のもと各地区生産者の実用化検定試験を実施し、実用化が期待できる有望な系統を選抜
水産	魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・新規 DNA ワクチンの試作、感染実験手法の確立(普及カード) ・ワクチン効果が低い要因の解明(研究 Now) ・機能性資材の投与による、II型レンサ球菌症の死亡開始遅延を確認

(3) 農林水産試験研究アドバイザー

農林水産研究指導センターでは、大学や国立研究開発法人等の研究者や専門的な知識・経験を有する有識者などを農林水産試験研究アドバイザーに選任しており、研究課題に関して専門分野の技術的アドバイスを受けている。

令和5年度 大分県農林水産研究指導アドバイザー

部門	所 属 名	職 名	氏 名	備 考
農 業	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 環境農学部門 生産環境科学講座	教授	平 館 俊 太 郎	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域 飼料生産グループ	主席研究員	古賀 伸久	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准教授	上野 高敏	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	上級研究員	井上 博喜	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教授	尾崎 行生	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域	領域長補佐兼 施設野菜グループ長	渡辺 慎一	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	グループ長	石井 孝典	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶品種育成・生産グループ	グループ長	吉田 克志	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	助教	安彦 友美	R5.9.30 まで
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域水田高度利用グループ	グループ長補 佐	中野 洋	R5.10.1 から
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 スマート水田輪作グループ	グループ長	高橋 仁康	
	国立大学法人鹿児島大学	名誉教授	冨永 茂人	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整役	吉岡 照高	
国立大学法人鳥取大学	特任教員	田村 文男		
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ	上級研究員	今村 仁		

	学校法人東海大学	名誉教授	田中 孝幸	
	株式会社大分園芸花市場	代表取締役	菊谷 晴美	
畜産	国立大学法人 広島大学 大学院統合生命科学研究科	教授	島田 昌之	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座	准教授	高橋 秀之	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長	細田 謙次	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 飼料生産グループ	上級研究員	池田 堅太郎	
林業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕	
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	グループ長	野宮 治人	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 環境農学部門 サステイナブル資源科学講座	准教授	藤本 登留	
	大分県椎茸農業協同組合	参与	有馬 忍	
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	グループ長	木下 晃彦	
水産	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門	特任部長	照屋 和久	
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 育種部	系統開発 グループ長	菅谷 琢磨	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座	准教授	島崎 洋平	
	国立大学法人 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター 生態系解析部門 魚類感染症学研究室	准教授	北村 真一	
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系 保全研究室	教授	村瀬 昇	
	学校法人 福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 沿岸資源培養学研究室	教授	太田健吾	

4 情報発信機能の強化

(1) 研究 Now

研究成果等を「研究 Now」と題してホームページに掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

令和5年度 研究 Now 一覧

vol.	所属	タイトル
135	果樹グループ	シャインマスカットの貯蔵技術改善に取り組んでいます
136	農業研究部	ドローン（マルチコプター）による空撮画像を活用した白ねぎの生育状況の見える化
137	農業研究部	オオバ（しそ）における天敵を活用したアザミウマ類の総合防除
138	農業研究部	炭酸ガス施用&温度制御で「ベリーツ」の収量向上！
139	水産研究部	Ⅲ型レンサ球菌症の出現 ～ブリ養殖における影響と対策～
140	畜産研究部	肥育豚への粃米サイレージ（ソフトグレインサイレージ）給与技術の確立
141	農業研究部	白ねぎの大苗育苗技術を用いた夏越し作型に適する品種選定について
142	林業研究部	低コスト造林に向けたスギ優良品種の材質の解明
143	水田農業グループ	裸麦品種「ハルアカネ」が普及拡大しています！
144	畜産研究部	周年親子放牧に適した牧草種による周年放牧の実証
145	花きグループ	スイートピーの栄養診断技術の確立に取り組んでいます
146	北部水産グループ	マダコ増養殖の実現へ！安定した種苗生産技術の開発

(2) 普及カード

各研究部・グループが実施した研究のうち、生産現場に普及すべき成果（令和4年度までに成果が得られたもの）を「令和5年度普及カード」としてまとめ、公開になじまないもの（資料として取扱うもの）を除き、ホームページで公開した。

令和5年度 普及カード一覧

No	研究機関名	タイトル	研究課題名	試験期間	資料
1	農業研究部	転炉スラグにより酸度矯正した圃場での露地野菜の適性評価	農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術確立	R1～R4	○
2	農業研究部	圃場の排水対策支援プログラム	水田畑地化圃場における土壌改良技術の確立	R2～R4	○
3	農業研究部	水田畑地化における事前確認事項と大分式強化釜場による排水対策	水田畑地化圃場における土壌改良技術の確立	R2～R4	○
4	農業研究部	シロイチモジヨトウの薬剤感受性検定結果	根深ネギにおけるシロイチモジヨトウの感受性検定	R3～R4	○

No	研究機関名	タイトル	研究課題名	試験期間	資料
5	農業研究部	ネギ萎凋病の薬剤感受性検定結果	安全生産技術に関する研究	R4	○
6	水田農業グループ	水田畑地化支援ツール 大分県版 経営計画策定システムの作成	水田農業の経営安定化に向けた経営最適化システムの開発	R2～R4	
7	水田農業グループ	RTK-GNSSのトラクター作業への活用	大規模経営体に対応した麦類の高速播種システムの確立	R2～R4	
8	果樹グループ	マルドリ方式による「大分果研4号」の安定生産技術	県南地域に適した中晩柑の高品質生産技術の確立及びオリジナル品種の開発	R2～R4	
9	果樹グループ	「太田ポンカン」のクラッキング・水腐れ症軽減技術	県南地域に適した中晩柑の高品質生産技術の確立及びオリジナル品種の開発	R2～R4	
10	果樹グループ	貯蔵「シャインマスカット」の果実腐敗症状と原因菌	ブドウの高収量栽培、早期成園化技術と新品種の安定生産技術の確立	R2～R4	○
11	果樹グループ	ナシの作業性に優れた「改良流線型仕立」栽培法の開発	ナシの作業性に優れた「改良流線型仕立」栽培法と側枝発生促進技術の開発	R2～R4	
12	花きグループ	ホオズキ実生苗の育苗方法と特性の解明	水田畑地化に対応したホオズキ栽培体系の確立	R2～4	
13	花きグループ	トルコギキョウの夏秋産地における適品種の選定	トルコギキョウ夏秋産地拡大のための栽培技術の確立	R2～4	
14	畜産研究部	LED光線管理による効率的豚人工授精法の確立	LED光線管理による効率的豚人工授精法の確立	R1～R3	
15	林業研究部	長大スパンに対応する接着重ね材の開発	長大スパンに対応する接着重ね材の開発 -大径材等の新たな用途拡大-	R2～R4	
16	水産研究部	ヒラメのリンホシスチス病感染防止対策	魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発	R2～R4	

(3) 農林水産研究タイムリー情報

平成29年8月から、一定の成果が得られた報告（普及カードや研究Now等）以外の日常的な取組（トピックス等）を「農林水産研究タイムリー情報」として県庁ホームページに掲載している。令和5年度の実績は以下のとおりである（計180件発信）。

農業 84件（農業研究部 42件、水田農業グループ 7件、果樹グループ 19件、花きグループ 16件）
畜産 1件（畜産研究部 1件）
林業 27件（林業研究部 22件、きのこグループ 5件）
水産 68件（水産研究部 28件、北部水産グループ 40件）

(4) 農林水産研究指導センター研究状況報告会

試験研究活動や成果を知事・副知事及び県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

ア) 知事・副知事報告 (開催日: 令和6年1月17日 場所: 知事室第一応接室)

発表課題	発表者
オオバの環境にやさしいアザミウマ防除技術の確立	農業研究部 病害虫対策チーム 研究員 伊東 拓真
黒毛和種雌牛における新たな繁殖性改善技術の検討	畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム 主任研究員 波津久 航

イ) 農林水産研究指導センター研究状況報告会 (開催日: 令和5年11月20日 場所: 大分県水産会館)

発表課題	発表者
ドローン (マルチコプター) による空撮画像を活用した白ねぎの生育状況の見える化	農業研究部 土壌・環境チーム 研究員 工藤 新一
環境にやさしいオオバのアザミウマ防除技術の確立	農業研究部 病害虫対策チーム 研究員 伊東 拓真
CO2 施用&温度制御でベリーツ収量向上!	農業研究部 果菜類チーム 研究員 能見 伊久絵
白ねぎの夏越作型における高温対策技術	農業研究部 葉根菜類・茶業チーム 研究員 上谷 麻梨恵
「シャインマスカット」の貯蔵技術の改善による輸出支援	農業研究部果樹グループ 落葉果樹チーム 主幹研究員 渡邊 久能
シンクロトロン光による突然変異個体の獲得	農業研究部花きグループ 花きチーム 主任研究員 安部 良樹
黒毛和種繁殖障害牛への多血小板血漿 (PRP) の子宮内注入による受胎性改善効果とその応用	畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム 主任研究員 波津久 航
スギさし木苗に関する研究	林業研究部 森林チーム 研究員 加藤 小梅
8月採卵種苗を活用した養殖ブリの出荷端境期対策	水産研究部 資源増殖チーム 研究員 鈴木 翔太

5 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関の機能強化、技術向上及び業務の効率化等の円滑な運営を図るため、各機関が総合的かつ有機的な連携体制を構築することを目的として、平成 22 年度に衛生環境研究センター、産業科学技術センター、農林水産研究指導センターの 3 機関で大分県試験研究機関連携会議を設置した。また、令和元年度から警察本部 刑事部科学捜査研究所を加えた 4 機関の体制となった。

令和 5 年度は農林水産研導センターが事務局を担当し、下記の会議を通じて 4 機関の連携を深めたほか、農林水産研究指導センターが主催する研修（数理統計研修、メッシュ農業気象データ利用研修、若手研究員研修、はやしセミナー）については連携会議所属機関からも参加者を募り、研究員の資質向上及び研究員同士の交流の促進を図った。

開催日	場所	内容
R5.7.14	産業科学技術センター	企画運営会議 (本年度の活動体制・内容確認の打合せ)
R5.8.30	農林水産研究指導センター	令和 5 年度第 1 回大分県試験研究機関連携会議 (令和 4 年度事業報告、令和 5 年度事業計画) 農林水産研究指導センター見学
R6.3.6	県庁内会議室	令和 5 年度第 2 回大分県試験研究機関連携会議 (令和 4 年度事業報告等の資料共有)

6 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

	研修名	開催日	開催場所	参加人数
1	新規採用研究員・農業技術員研修	R5.4.12	県庁舎本館 防災活動支援室 1	新規採用職員 14 名
2	新規採用研究員等生産現場体験研修	随時	各生産現場	5 名
3	採用 5 年目研修	R5.7.7 R5.8.4	県庁舎本館 91 会議室	4 名
4	研究公正と研究倫理	R5.9.11 ～10.31	Eラーニング	すべての職員
5	若手研究員研修	R5.12.21	水産研究部	21 名
6	研究員資質向上研修 ～はやしセミナー～	R6.3.13	農林水産研究指導センター 第 3 会議室	92 名
7	数理統計研修	R5.11.29 ～12.1	県庁舎新館 OA プラザ	13 名
8	農林水産業スマート技術研修	R5.8～R6.2	オンライン動画学習 オンライン対面演習	3 名
9	出前はやしセミナー	R5.11.7 R6.1.19	農業研究部 農業研究部	12 名 6 名
10	若手研究者研修〔国研修〕	R5.9.28～ 9.29	東京都（農林水産省）	1 名
11	中堅研究者研修〔国研修〕	R5.12.4 ～12.5	東京都（農林水産省）	1 名
12	研究リーダー研修〔国研修〕	R5.6.29 ～6.30	東京都（農林水産省）	3 名
13	短期技術習得研修			

(1) 新規採用研究員・農業技術員研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R5.4.12	県庁者本館 防災活動支援室1	14名 (うち新採用研究員 10名) (うち新採用農業技術員 4名)	農林水産研究指導センターの概要・役割について 農林水産研究指導センター 研究企画担当 主幹 姫野美紀 大分県の一次産業を支える研究員・農業技術員としての構え 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭

(2) 新規採用研究員等生産現場体験研修

受講者 所属	受講者 役職/氏名	派遣先 (派遣地)	研修期間	研修内容 (体験した主要な作業)
農業 研究部	研究員 後藤航大	有限会社 育葉産業 (豊後大野市)	R5.10.16~20 R5.10.23~27	みつ葉の栽培作業(定植機を動かし、苗を栽培用パネルに定植して栽培ベッドに敷き詰める作業、生育段階に応じてパネルを変更し移植作業、栽培用パネルの洗浄作業)
農業 研究部	研究員 石本侑梨	小橋秀範氏 (臼杵市)	R5.7.3~10.21 (うち10日間)	ピーマンおよびカンショの収穫作業
農業 研究部	研究員 後藤愛美香	有限会社旭 (豊後大野市)	R5.10.4~11 R5.12.13~19	カンショ収穫・調整作業 白ネギ収穫・調整作業
水田農業 グループ	研究員 高倉脩	農事組合法人 蟻木営農	R5.7.27~12.26 (うち6日間)	大豆除草剤散布、草刈り、麦類除草剤散布、ブロッコリーの収穫およびその調整作業
果樹 グループ	研究員 永松麻友香	亀井秀朗氏 (杵築市)	R5.7.3~28 (うち14日間)	ハウスミカンの収穫・選果・出荷 ハウスミカンの選定の見学

(3) 採用5年目研修(地域農業振興課との共催)

開催日	開催場所	受講生	内容
〔前期〕 R5.7.7	県庁舎本館 91会議室	農業研究部 津田裕樹 阿部青葉 川口揚豊 果樹グループ 薬師寺亜樹	農業振興現場における提案 地域農業振興課 副主幹 河野雅俊 提案資料事例紹介 地域農業振興課 主査 佐伯真奈美 提案資料作成演習 受講生
〔後期〕 R5.8.4	県庁舎本館 91会議室		口頭提案(ロールプレイング) 受講生

(4) 研究公正と研究倫理

受講期間	受講者	研修内容
R5.9.11~ 10.31	農林水産研究指導センター所属職員(会計年度任用職員を除く)	独立行政法人 日本学術振興会「研究倫理eラーニング」 受講コース:【研究者向け】事例で「学ぶ/考える」研究倫理-誠実な科学者の心得-

(5) 若手研究員研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R5.12.21	水産研究部	35歳以下の 若手研究員等 21名	水産研究部施設視察（施設の説明や研究概要等） 伝達研修：農林水産関係若手研究者研修 農業研究部 研究員 阿部青葉 研究内容の紹介・意見交換 農業研究部 研究員 中園佳那 農業研究部 研究員 山本菜名 水田農業グループ 研究員 渋谷哲平 果樹グループ 研究員 梅田 武志 水産研究部 研究員 室谷冬香 衛生環境研究センター 研究員 甲斐太郎 産業科学技術センター 研究員 佐竹幸栄 科学捜査研究所 研究員 蓑手勇人

(6) 研究員資質向上研修 ～はやしセミナー～

開催日	開催場所	参加者数	内容
R6.3.13	農林水産研究指導センター	92名 (うちオンライン48名)	研究倫理「研究活動での不正とその防止」 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 記念講演「試験研究が担うもの」 農林水産研究指導センター センター長 吉止勝幸

(7) 数理統計研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R5.11.29 ～12.1	県庁舎新館 OAプラザ	13名	R・R Comander・R studio の動作確認、統計曼荼羅と統計学概論、データのばらつきの数値化、パラメトリック統計学、データ可視化からレポート作成まで、完全無作為化法の原理、多重比較の諸方法について、乱塊法とその応用、実験計画法と多重比較の実例、モデル選択論と一般化線形モデル、統計モデリングの実際、多変量データと多変量解析、質疑討論と個別コンサルティング 講師：東京農業大学 農学部 生物資源開発学科 客員教授 三中信宏 氏

(8) 農林水産業スマート技術研修

研修期間	開催場所	受講者	内容
R5.8～12月	オンライン 動画学習	農業研究部 後藤航大 水田農業 グループ 長島泰一 林業研究部 松本 純	「基礎から学ぶ python」 python の基本的な操作等に関する解説、演習（四則演算、データ形式、リスト・辞書、条件、繰り返し、関数定義、多次元配列等） 「python で学ぶ機械学習」 機械学習各手法の数学的な仕組み等の解説と python でのコード実装、演習
1.26、2.16、 2.27	オンライン 対面演習		実際のデータを用いた演習 株式会社すうがくぶんか 内場崇之 氏

(9) 出前はやしセミナー

開催日	開催場所	参加者数	内容
R5.11.7	農業研究部	12名	試験データの表し方 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭
R6.1.19	農業研究部	6名	令和6年度試験設計書案を実際に作成してみよう 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭

(10) 若手研究者研修

開催日	開催場所	受講者	内容
R5.9.28 ～9.29	東京都 (農林水産省)	農業研究部 阿部青葉	農林水産省主催の農林水産関係若手研究者研修に参加 農林水産関係試験研究機関の若手研究者として最低限身に 着ける必要のある知見の習得、能力の開発

(11) 中堅研究者研修

開催日	開催場所	受講者	内容
R5.12.4 ～12.5	東京都 (農林水産省)	北部水産 グループ 崎山和昭	農林水産省主催の農林水産関係中堅研究者研修に参加 農林水産関係試験研究機関の中堅研究者のキャリアパスと して必要となる知見の習得や、企画・立案能力の開発

(12) 研究リーダー研修

開催日	開催場所	受講者	内容
R5.6.29 ～6.30	東京都 (農林水産省)	畜産研究部 内村 誠 果樹グループ 矢野 拓 林業研究部 坂本修一	農林水産省主催の農林水産関係研究リーダー研修に参加 研究リーダーの任にある研究者に対し、研究リーダーとし て必要な知見の習得及び能力の向上

(13) 短期技術習得研修

所属	役職/氏名	派遣先	研修期間	内容
農業研究部	研究員 平木 薫	法政大学 (東京都)	R5.8.1 ～8.3	ハダニ類の同定方法の解説と実習、アザミウマ類 の同定方法の解説と実習、試験をうまく実施する ための方法(アザミウマ類、アブラムシ類等)
水産研究部	研究員 毛利文香	水産研究・教育 機構水産技術 研究所(広島 県)	R5.11.26 ～11.30	プランクトンの分類基礎、珪藻類の観察や分類、 有害プランクトンの形態分類と検索、プランクト ンの観察、赤潮・有毒プランクトン分子同定法の 解説、プランクトン観察・同定技術、固定・染色 法、現場試料の最終・処理・濃縮法、赤潮・有毒 プランクトンの分子同定法の実習及び解説
北部水産 グループ	研究員 岡田 理			
林業研究部	研究員 加藤小梅	森林研究・整備 機構森林総合 研究所林木育 種センター九州育 種場(熊本県)	R5.11.6 ～11.10	エリートツリーの現状と今後の方針について、次 代検定林等における林分調査実習、植物の生理つ いてなど

所属	役職/氏名	派遣先	研修期間	内容
農業研究部	研究員 山元美祐	一般社団法人 日本植物防疫 協会宮崎試験 場（宮崎県）	R6.2.14 ～2.16	薬効薬害試験の基礎、試験ほ場の選定、試験区の設定、病害虫の調査方法、試験成績書の作成
花き グループ	主任研究員 瀨野琴美	一般社団法人 日本植物防疫 協会宮崎試験 場（宮崎県）	R6.1.29 ～1.31	農薬登録制度、日植防試験研究概要、薬効・薬害試験の実施について、試験ほ場の選定・試験区の配置（実技）、農薬の処理方法（実技）、病害虫の調査方法（実技）、病原菌の顕微鏡観察（実技）、試験成績書のとりまとめと評価
水産研究部	研究員 室谷冬香	日本獣医生命 科学大学 （東京都）	R5.8.22 ～8.25 〔前期〕	養殖衛生管理技術者養成本科実習コース 真菌実習、 特論・演習、 寄生虫実習、 細菌実習、 ウイルス実習 認定試験
		東京海洋大学 （東京都）	R5.10.25 ～10.31 〔後期〕	
		日本水産資源 保護協会 （東京都）	R5.12.27 〔認定試 験〕	
北部水産 グループ	主任研究員 堀切保志 主任研究員 崎山和昭	大分県漁業公 社国東事業所 （国東市）	R6.2.17	キジハタの種苗生産技術に関する基礎講座、令和5年度種苗生産結果の討論と課題生理、大型水槽を用いた現地指導（水流やその他飼育条件）など
水産研究部	研究員 和田宗一郎	香川大学 （香川県）	R5.6.29 ～6.30	動物プランクトンの同定方法および実習、動物プランクトンの生物量測定方法
果樹 グループ	主幹研究員 矢野 拓	第5回アジア 園芸学会議 （東京都）	R5.8.28 ～8.30	第5回アジア園芸学会議（一般社団法人園芸学会秋季大会と共催）に参加し、国内外における世界最先端の園芸品目研究事例を聴講
果樹 グループ	研究員 久井田曜陽	高知大学 I o P 共創センタ ー（高知県） 株式会社みか ん職人武田屋 （愛媛県）	R5.12.4 ～12.8	環境情報のデータベースに A I を組み合わせた機械学習などによる栽培・生産管理の最適化や出荷時期の予測、 先進地視察：大規模経営体における園地視察と意見交換
果樹 グループ	研究員 田邊秀和	農研機構果樹 茶業研究部門 カンキツ研究 領域興津試験 場（静岡県）	R5.11.6 ～11.10	カンキツの育種について、A I 画像診断によるかん水判断技術、省力樹形の研究について、S マルチと水分生理、花成遺伝子発現の定量法 など

7 知的財産権の取得状況

令和5年度末までに登録されている特許及び品種は以下のとおりである。

(1) 特許登録

NO.	状況	登録		発明の名称	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日			
1	登録	3938786	2007/4/6	分娩予知通報システム	畜産研究部	50%
2	登録	4774484	2011/7/8	魚病防除剤及びその製造方法ならびに飼料	水産研究部	40%
3	登録	4783883	2011/7/22	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
4	登録	4905649	2012/1/20	魚用ワクチン、その製造方法、および魚類感染症の予防方法	水産研究部	1/3
5	登録	5422848	2013/12/6	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
6	登録	5733829	2015/4/24	凍結された精子用希釈液、及び、これを用いた人工授精方法	畜産研究部	50%
7	登録	5818111	2015/10/9	貝類毒化軽減装置および貝類毒化軽減方法	水産研究部	100%
8	登録	5904369	2016/3/25	精子保存液、精子保存方法及び人工授精方法	畜産研究部	50%
9	登録	6041238	2016/11/18	ブリ細菌性溶血性黄疸の病原体抗原ポリペプチド、及びこれを含む水産用ワクチン	水産研究部	20%
10	登録	6099048	2017/3/3	茶の施肥方法	農業研究部	50%
11	登録	6291669	2018/2/23	転倒まず型流量計測装置	農業研究部	20%
12	登録	6704562	2020/5/15	赤潮原因ラフィド藻類の光逃避行動を誘導する方法	水産研究部	25%
13	登録	6516252	2019/4/26	根深ネギの大苗育成方法	農業研究部	100%
14	登録	6804060	2020/12/4	ブタ精子凍結希釈液用添加剤及びブタ精子の凍結保存方法	畜産研究部	50%
15	登録	6738071	2020/7/21	長尺育苗容器、連続集合鉢体苗を入れる装置、および、巻き取り器具	農業研究部	100%
16	登録	7142842	2022/9/16	哺乳動物精子の分離方法、人工授精方法及び体外受精方法	畜産研究部	20%
17	登録	7267542	2023/4/24	土壌水分の推定方法	農業研究部	40%

(2) 品種登録

NO.	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
1	登録	15413	2007/3/23	なし	豊里	果樹グループ	100%
2	登録	17734	2009/3/6	かんきつ	大分果研4号	果樹グループ	100%
3	登録	20806	2011/5/24	トルコギキョウ	チェリービー	花きグループ	100%
4	登録	24322	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー2号	花きグループ	100%
5	登録	24323	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー3号	花きグループ	100%
6	登録	24345	2015/6/19	ヤマジノギク	TOYO ロマン2号	花きグループ	100%
7	登録	26579	2018/2/9	大麦	トヨノホシ	水田農業グループ	70%
8	登録	28275	2021/1/26	イチゴ	大分6号	農業研究部	100%
9	登録	28847	2022/1/17	かんきつ	大分果研6号	果樹グループ	100%

NO.	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
10	出願公表			ブドウ	クリーノ	果樹グループ	20%
11	出願公表			ブドウ	ニヨンティーマ	果樹グループ	20%
12	出願公表			ブドウ	エラシーノ	果樹グループ	20%
13	出願公表			ブドウ	カミノワール	果樹グループ	20%
14	出願公表			ブドウ	アティーン	果樹グループ	20%
15	出願公表			ブドウ	ネオノワール	果樹グループ	20%
16	出願公表			しいたけ	大分林研き-2103	きのこグループ	100%
17	登録 (韓国)	8768	2021/11/16	イチゴ	大分6号	農業研究部	100%
18	出願公表 (中国)			イチゴ	大分6号	農業研究部	100%

8 九州大学との連携

本県と九州大学は、九州大学の教育研究並びに社会貢献の進展と、大分県における農林水産業の振興を図ることを目的に、「国立大学法人九州大学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部と大分県農林水産部との連携に関する基本協定」を平成19年1月29日に締結している。連携事項は、(1)共同研究事業、(2)研究者及び学生の派遣・交流事業、(3)学術研究資料の交換事業、(4)その他、本協定の目的の達成に有益な事業、となっており、これらを行うために「連携協議会」を設置し、今後の連携交流の円滑な実施及び具体的な事業の推進を図ることとしている。

令和5年度は、九州大学伊都キャンパスにて相互の研究内容の報告及び意見交換を行うとともに農場視察を行った。

開催月日	場所	行事名	内容	参集者
R5.11.27	九州大学 伊都キャンパス	令和5年度九州大学 大学院農学研究院と 大分県農林水産部と の連携協議会	①「伊都キャンパス農場における農業DXの取組」 ②大分県農林水産研究指導センターの スマート農林水産業の取組について ※終了後農場視察実施	(九州大学) 中尾研究院長 他12名 (大分県) 吉止センター長他11名

9 受賞、学位取得の状況

(1) 受賞者一覧

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞日	受賞の内容
農業研究部果樹グループ 上席主幹研究員(TL) 矢野 拓	日本農業気象 学会論文賞	日本農業気象学会	R6.3.15	直接測定法や間接推定法に基づく高収量ハウスミカン樹冠構造の特徴について
畜産研究部 部長 安高康幸	畜産研究功労 者表彰	全国畜産関係場所 長会	R6.6.18	畜産の発展に貢献した技術者
林業研究部 主幹研究員 山本幸雄	第36回研究 功績賞表彰	全国林業試験研究 機関協議会	R6.1.18	大分県産スギ製材を活用した大断面柱材等の開発

10 予算概要

令和5年度当初予算（経常的経費[人件費を除く]）

（単位：千円）

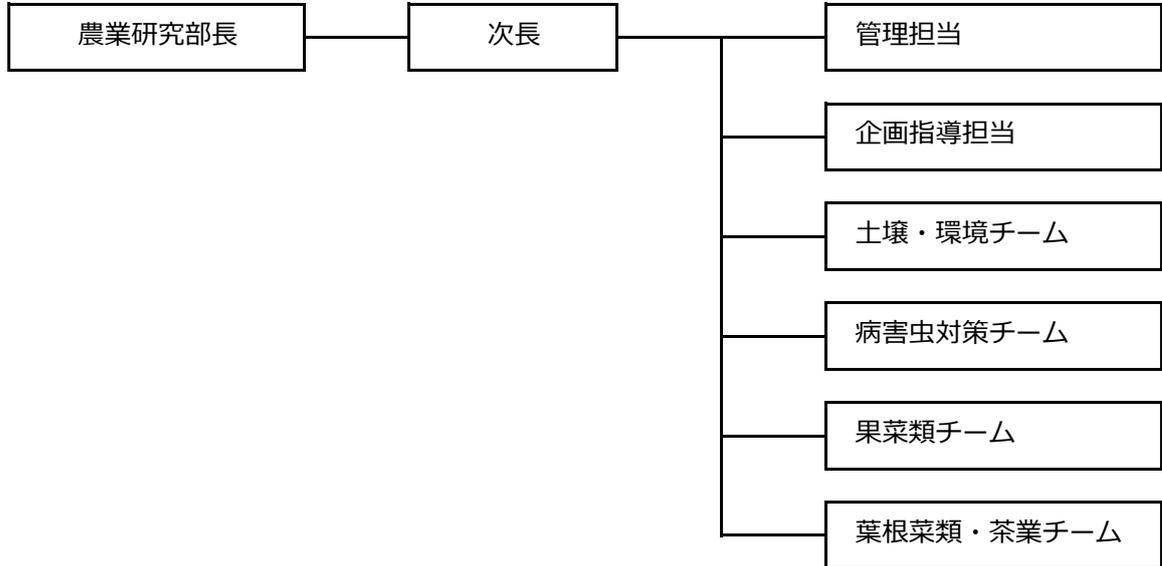
区 分	試験研究 調整費	管理運営費 + 管理予算	施設整備費	試験研究費	計
センター本部	12,301		91,494		103,795
農業研究部		51,081		43,323	94,404
水田農業グループ		33,133		18,043	51,176
果樹グループ		19,364		25,669	45,033
花きグループ		12,423		13,513	25,936
畜産研究部		63,588		164,215	227,807
林業研究部		22,544		10,453	32,997
きのこグループ		8,792		9,900	18,692
水産研究部		27,339		46,049	73,388
北部水産グループ		23,970		20,065	44,035
合計（農林水産研究指導センター）	12,301	262,234	91,494	351,230	717,259

II 各研究部・グループの概要

II-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員¹⁾

令和5年5月15日現在

組織	職種						計	備考
	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員		
部長		1					1	
次長	1						1	兼センター管理調整監
管理担当	5						5	
企画指導担当		2					2	
土壌・環境チーム		7	1				8	
病害虫対策チーム		8			1		9	
果菜類チーム		8	1			2	11	
葉根菜類・茶業チーム		6		1	1		8	
計	6	32	2	1	2	2	45	

(3) 業務

県の短期集中県域支援品目を中心に、生産現場の課題解決に直結した研究開発を行い、得られた成果を速やかに生産者へ普及する。試験課題は生産者や消費者・実需者のニーズを的確に捉えたものとし、高品質・安定生産・省力化のための生産技術、ドローン等を活用した生育診断等のスマート農業技術、IPMに基づいた病害虫防除技術および地域未利用資源の新たな活用技術等を開発し実証する。またオリジナル品種の育成や優良品種の選定等に取り組む。

企画指導担当

- ①試験研究の企画調整と進行管理
- ②研究成果のとりまとめと活用
- ③農業情報（気象データ）の管理と提供
- ④研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①スマート農業など新技術を活用した野菜類栽培の省力化技術の研究
- ②農産物の安全・安心や環境に優しい農業生産技術の研究
- ③未利用資源の農業活用技術に関する研究
- ④土壌環境の改良に関する研究
- ⑤温室効果ガス排出削減に関する研究
- ⑥肥料取締分析と農業試験検査事務に係る分析

病害虫対策チーム

- ①IPMに基づいた病害虫防除技術の開発、実証
- ②難防除病害虫、薬剤耐性菌・抵抗性害虫対策に関する研究
- ③主要農作物の病害虫発生予察に関する研究
- ④国内未発生病害虫に関する植物検疫
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①イチゴの新品種育成
- ②ベリーツ（大分6号）の収量向上技術に関する研究
- ③ベリーツ（大分6号）のウイルスフリー苗の供給
- ④夏秋ピーマンの収量向上技術に関する研究
- ⑤夏秋トマトの栽培環境改善技術に関する研究

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、カンショ、サトイモ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショのウイルスフリー苗の供給
- ③ドリンク茶の栽培技術および病害虫防除技術に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
1) 土壌水分・ECセンサによる新型かん水・施肥制御装置の開発	土壌・環境	大分大学	R4～6	県単
・ 革新的な省力栽培技術の開発				
1) ドローンリモートセンシングによる大規模経営体の経営効率化支援技術の確立	土壌・環境		R4～6	県単 国庫
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
1) ベリーツの特性を活かした早期収量向上技術の確立	果菜類		R5～7	県単
・ いちごの県オリジナル品種の育成				
1) 省力栽培可能なイチゴ品種の育成と次世代育種技術の導入	果菜類		R4～6	県単
・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立				
1) 根深ネギの大苗育苗技術を利用した新たな栽培体系の確立	葉根菜類・ 茶業		R3～5	県単
・ 規模拡大に対応する土地利用型作物生産技術の確立				
1) 土地利用型作物の優良種苗生産技術の確立	葉根菜類・ 茶業		R4～6	県単
・ みどりの食料システム戦略の実現に向けた病害虫総合防除技術の確立				
1) 湿度に着目した「ベリーツ」の病害虫発生抑制技術の開発	病害虫対策		R4～6	県単
2) 夏秋トマト栽培で問題となるコナジラミ類の防除技術の開発	病害虫対策		R4～6	県単
3) 黒ボク土壌地域における根深ネギの黒腐菌核病の防除体系の確立	病害虫対策		R3～5	県単
4) 天敵を活用した「おおば」の害虫防除体系の構築	病害虫対策		R3～5	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 果菜類の安定生産技術の開発				
1) 夏秋トマトの栽培環境改善技術の確立	果菜類		R5～7	県単
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発				
1) 西日本一の夏秋ピーマン産地を支える抵抗性品種の選抜及び栽培技術の確立	果菜類		R3～5	県単
・ ドリンク茶生産管理技術の確立				
1) 大規模経営に対応したドリンク茶生産管理技術の確立	葉根菜類・ 茶業		R4～6	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省工ネ・環境対策）				
・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発				
1) 畑地化水田における露地野菜の適地判別・品質向上 －高糖度かんしょ－	土壌・環境		R5～7	県単
2) 「みどりの食料システム戦略」実現に向けた施肥技術の確立	土壌・環境	片倉コープア グリ、菱東肥 料	R5～7	県単

2) 研究分野：Ⅱ基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）

・ 土壌に関する基礎調査				
1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境	農研機構	長期	国庫 委託
2) J-クレジット新規方法論等策定に関する調査	土壌・環境	日本製鉄	R5～7	委託
・ 未利用資源の活用				
1) 農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術構築	土壌・環境	日本製鉄	R5	委託
2) 下水汚泥資源の活用促進に係るMAP混合液肥の製造利用技術に関する実証研究	土壌・環境	日田市下水汚泥資源活用促進コンソーシアム	R5～7	委託
・ 優良種苗生産				
1) イチゴウィルスフリー苗の育成	果菜類		長期	県単
・ カンショ 優良系統の選定及び元苗供給				
1) カンショの茎頂点培養によるウィルスフリー苗の育成	葉根菜類・茶業		長期	県単
・ 品種の選定				
1) カンショの品種選定	葉根菜類・茶業	農研機構	長期	県単
2) 茶試験圃場の育成	葉根菜類・茶業	農研機構	長期	県単 国庫
・ 委託薬剤試験				
1) 安全生産技術に関する研究	病害虫対策		長期	県単 委託
・ マイナー作物農薬残留調査				
1) 農薬残留特殊調査（マイナー作物への登録拡大）	病害虫対策	大分県薬剤師会	長期	県単
・ 病害虫防除所業務（普通作・野菜・果樹・茶）				
1) 病害虫発生予察事業	病害虫対策、葉根菜類・茶業		長期	県単 国庫
・ 土壌肥料検査業務				
1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境		長期	県単 委託
・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援				
1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境		長期	県単 委託
・ 農業情報の提供（生育状況、気象データ）				
1) 農業情報の提供（気象データ）	企画指導担当		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和4年度農業研究部試験研究成績書 CD版	R6.3	486	50
令和5年度植物防疫事業成績書（年報）CD版	R6.3	74	42
大分県農林水産研究指導センター研究報告 （農業研究部編）第10号 CD版	R6.3	14	100

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
祖田嘉教・小倉季来・坂本誠毅・玉嶋勝範・山崎修一・竹下稔	放射状着色及び茶褐色を呈するダイズ種子からの感染ウイルスの識別検出（講要）	日本植物病理学会報	第89巻	169-170
山元美祐・玉野井昭・山崎修一	大分県におけるシロイチモジヨトウの薬剤感受性検定について（講要）	九州病害虫研究会報	第69巻	32
伊東拓真・伊藤玲央・山崎修一	大分県のシソにおけるアザミウマ類の発生実態と定植時防除薬剤の選定について（講要）	九州病害虫研究会報	第69巻	35
加藤貴浩	オオムギ焼酎かす濃縮液の肥料利用	農業技術大系「土壌施肥編」	第7-①巻	306の28-32

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.7.28	九州病害虫防除推進協議会 第1回技術研修会	伊東拓真	オオバにおけるアザミウマ類の防除対策について
R5.10.12	みどりの食料システム戦略・ 持続的農業推進セミナー	工藤新一	ドローンリモートセンシングによる大規模経営体の効率化支援技術の開発
R6.2.9	九州病害虫研究会 第103回研究発表会	玉野井昭・祖田嘉教・ 古閑凜太郎・山元美祐 ・山崎修一	大分県におけるピーマン斑点病菌の薬剤感受性について
		平木薫・伊藤玲央・ 伊東拓真・山崎修一	タバコカスミカメを利用した夏秋トマトにおけるコナジラミ類の防除について
		伊東拓真・伊藤玲央・ 平木薫・山崎修一	シソにおけるアザミウマ類の薬剤感受性検定と非化学的防除資材の防除効果について

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和5年度農林水産部 普及活動・研究成果報告会	R6.1.17	県庁	1	20

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.4.6	イチゴ講習会	佐伯市2か所	14	南部振興局、J A おおいた
R5.4.18	白ねぎ大苗育苗に係る展開作業講習会	日田市圃場	5	西部振興局
R5.4.27	普及方法研修（基礎1年目:前期）研修	農業研究部	15	地域農業振興課
R5.4.28	土耕こねぎ栽培講習会	東部振興局	30	東部振興局
R5.5.22	土壌断面調査研修	北部振興局内圃場	10	北部振興局
R5.6.8	イチゴグリサポ事業R4成績及びR5設計検討会	農業研究部	20	地域農業振興課
R5.6.9	専門技術研修（安全農業等・1年目）	農業研究部	24	地域農業振興課
R5.6.15	土壌断面調査研修	大分市圃場	20	中部振興局
R5.6.15	イチゴ勉強会	オンライン	10	地域農業振興課
R5.6.16	専門技術研修（基礎：野菜2年目）	農業研究部	8	地域農業振興課
R5.6.22	専門技術研修（基礎：野菜1年目）	農業研究部	10	地域農業振興課
R5.6.23	専門技術研修（基礎：野菜1年目）	農業研究部	13	地域農業振興課
R5.7.10	イチゴ勉強会	オンライン	10	地域農業振興課
R5.7.14	専門技術研修（茶）	農業研究部	4	地域農業振興課
R5.7.27	ベリーツ勉強会	J A おおいた 由布市	15	中部振興局
R5.8.28	東部地区果樹の新植における土壌断面調査研修会	杵築市、日出町	20	東部振興局
R5.8.29	スマート農業研修会	竹田市菅生分館 現地圃場	40	豊肥振興局大野川上流開発事業 事務所
R5.8.29	土壌肥料・病害虫に関する研修会	農業研究部	30	大分県肥料植物防疫協会
R5.8.30	第1回中津市水田経営若手農業者研修会	中津市役所 三光支所	10	北部振興局
R5.8.31	いちご I P M 研修会	大分県農協	60	大分県農業協同組合 地域農業振興課
R5.9.1	専門技術研修（基礎1年目：野菜）	農業研究部	15	地域農業振興課
R5.9.5	専門技術研修 （安全農業等（病害虫）：2年目）	農業研究部	8	地域農業振興課
R5.9.6	専門技術研修 （安全農業等（病害虫）：3年目）	農業研究部	8	地域農業振興課
R5.9.12	ドローン空撮実演及び生育診断ソフト等 活用研修会	豊後大野市大野町 公民館、現地圃場	27	農業研究部
R5.9.26	1)	佐伯市圃場	5	南部振興局
R5.10.5	白ねぎドローン防除実演及び病害虫対策 研修会	豊後高田市呉崎公 民館	20	北部地区食料・農業・農村振興 協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.10.13	専門技術研修 （基礎2年目：安全農業〈土壌肥料〉）	農業研究部	7	地域農業振興課
R5.10.20	専門技術研修 （基礎3年目：安全農業〈土壌肥料〉）	農業研究部	6	地域農業振興課
R5.10.20	専門技術研修（基礎1年目：野菜）	農業研究部	14	地域農業振興課
R5.10.25	土壌断面調査研修	大分市圃場	10	中部振興局
R5.10.31	トマトキバガ対策指導	竹田市現地圃場	44	大分県農業協同組合、竹田市 豊肥振興局、地域農業振興課
R5.11.6	トマトキバガ対策指導	九重町現地圃場	8	大分県農業協同組合 西部振興局
R5.11.7	トマトキバガ対策指導	竹田市現地圃場	27	大分県農業協同組合、竹田市 豊肥振興局、地域農業振興課
R5.11.10	専門技術研修（基礎1年目：野菜）	農業研究部	25	地域農業振興課
R5.11.16	土壌断面調査研修	豊後高田市圃場	10	北部振興局
R5.11.28	ベリーツ一般栽培者研修会	農業研究部	15	園芸振興課
R5.12.11	第4回ベリーツ普及活動フォローアップ会議	大分県教育会館	10	地域農業振興課
R5.12.12	施肥防除対策研修会	大分県教育会館	100	地域農業振興課 大分県肥料植物防疫協会
R5.12.18	農地整備による園芸産地づくりの情報共有・意見交換会	県庁	76	農村整備基盤課、園芸振興課 地域農業振興課 水田畑地化・集落営農課
R6.1.10	土壌医検定試験対策講座（専門）	農業研究部	10	
R6.1.15	土壌断面調査研修	由布市圃場	10	中部振興局
R6.1.19	さといも優良種芋取り方講習会	農業研究部	20	豊肥振興局
R6.1.22	中部管内緑茶飲料用茶生産法人 若手社員向け講習会	農業研究部	5	中部振興局
R6.2.6	大分県農業指導士認定研修	大分県教育会館	100	地域農業振興課
R6.2.7	土壌断面調査研修	由布市圃場	5	中部振興局
R6.2.15	大分県無人航空機安全使用研修会	大分県農業協同組合本店	40	地域農業振興課
R6.2.15	土壌断面調査研修	九重町現地圃場	25	西部振興局
R6.2.15	中部振興局管内ファーマーズスクール合同研修	大分市役所大南支所	20	中部振興局
R6.2.29	イチゴグリサポ事業中間検討会	農業研究部	20	地域農業振興課
R6.3.5	農事研修会	J:COM ホルト ホール大分	30	大分県農産販売協同組合
R6.3.12	課題解決研修（茶）	農業研究部	10	地域農業振興課
R6.3.18	パブリカグリサポ事業成績検討会	オンライン	10	西部振興局
R6.3.19	大葉生産者講習会	J A おおいた 東部資材センター	20	J A おおいた中部事業部

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	6	36
団体等職員	0	0
普及指導員	0	0
学生	0	0
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	7	43
計	13	79

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
ほ場における土壌水分・ECの動態把握	土壌センサを活用し土壌・環境チームで考案した手法を用いて現地の土壌水分およびECの動態を把握する。	小ネギ（2戸）、ナス（3戸）、スイートピー（3戸）でデータ取得を行い、土壌水分とECのデータを取りまとめた。普及指導員に対してセンサを使ったセンサ水分値やセンサEC値の取得方法を指導し、研究成果の現地移転が進展した。
夏秋トマトにおけるタバコカスミカメの活用方法の検討	コナジラミ対策のために、タバコカスミカメ剤の普及を図る。	連棟強化型施設（30a）を対象に、6/14にタバコカスミカメ剤を放飼し防除効果を実証した。また 5～12月調査結果を集約し、単棟施設における調査結果（試験課題で実施中）と比較した。

II - 2 農業研究部水田農業グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
グループ長		1					1	
管理担当	3						3	
企画指導担当		1					1	
水田農業チーム		7	2			2	11	
計	3	9	2	0	0	2	16	

(3) 業務

- ① 稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善
- ② 稲・麦・大豆の優良種子生産
- ③ 水田畑地化を実現するための技術開発
- ④ 水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・食味、機能性、安全性などに優れた品種の選定と栽培技術の確立				
1) 水田農業転換期を支える多収型優良品種の導入に向けた栽培法の確立	水田農業		R1～6	県単 国庫
2) 水稲・麦・大豆の品種選定	水田農業	農研機構	R1～6	県単 国庫
3) 地場食品企業とタイアップした県産麦による地域ブランドの強化に向けた技術開発	水田農業	ヤクルト HF(株)、 佐々木食品工 業(株)、三和 酒類(株)、宇 佐パン粉(有)	R3～5	県単
4) ドローンを活用した高温登熟耐性品種「なつほのか」の栽培法の確立	水田農業		R4～6	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・水田フル活用に向けた園芸品目の導入				
1) 水田農業経営体向け畑地化推進品目えだまめ・はとむぎ栽培法の確立	水田農業		R4～6	県単
・農地集積や大区画化に対応した水田営農システムの確立				
1) 播種適期の拡大と排水対策による麦類の収量安定生産技術の確立	水田農業		H30～ R6	県単 国庫
・帰化植物、薬剤抵抗性等の難防除雑草の防除技術の開発				
1) 生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立	水田農業	農研機構	R2～5	県単 国庫
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
・焼酎粕等の未利用資源の活用による地域循環型栽培法の確立				
1) 地場食品企業とタイアップした県産麦による地域ブランドの強化に向けた技術開発（前出）				
・環境に配慮した水稲・麦の栽培法の確立				
1) 「みどりの食料システム戦略」実現に向けた施肥技術の確立	水田農業	農研機構、各 大学、各県、 肥料メーカー	R5～7	県単 国庫
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・主要農作物(水稲、麦類、大豆)の優良種子管理				
1) 主要農作物等種子対策事業	水田農業		長期	県単
・水稲、麦類、大豆の作柄判定調査の情報提供による生産指導支援				
1) 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査	水田農業		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
水稻早生品種「なつほのか」栽培のポイント	R6.3	6	7,000
裸麦「ハルアカネ」栽培のポイント	R6.3	4	1,000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
長島 泰一	麦栽培期間中の堆肥施用による水田地力回復技術の開発	グリーンレポート	No.653 R5.11.1	12~13
長島 泰一	ムギ生育期の牛ふん堆肥散布技術	作物生産と土づくり	Vol.55 No.577	2~7

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.9.14	九州作物学会	平野貴弘・渋谷哲平・野村充・内田多香子	大分県における2022年産イネ品種「なつほのか」の倒伏発生要因について
R6.3.28	日本作物学会 第257回講演会	松波寿典・屋比久貴之・小野寺恒雄・小野寺博稔・佐々木周平・新妻和敏・渡邊洋一・長島泰一・山崎 哲	疎播疎植ペースト2段施肥による水稻栽培法

(4) 研究成果発表会等

該当なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 7.13	普通作物課題解決研修	宇佐市	21	振興局、地域農業振興課、水田畑地化・集落営農課
R5.11. 6	麦作栽培研修会	国東市	27	生産者、農協、振興局
R5.11. 9	ニシノホシ生産者交流会	宇佐市	100	ニシノホシ生産者、三和酒類市、農協、振興局
R5.12. 8	水稻新品種「なつほのか」技術研修会	日田市	47	生産者、農協、振興局
R6. 1.31	麦作栽培研修会	中津市	48	生産者、農協、振興局
R6. 2.14	長崎県麦・大豆栽培研修会	諫早市	55	生産者、長崎県農業再生協議会
R6. 2.16	普通作物課題解決研修	宇佐市	23	振興局、地域農業振興課 水田畑地化・集落営農課
R6. 2.20	大豆新品種導入に係る検討会	大分市	31	全農大分県本部 大分県農業協同組合 振興局、地域農業振興課 水田畑地化・集落営農課
R6. 2.21	麦生育期間中堆肥散布研修会	宇佐市	20	生産者、田川市、田川農協

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	2	18
団体等職員	21	34
普及指導員	22	74
学生		
児童・生徒		
海外からの視察者		
その他	1	30
計	46	156

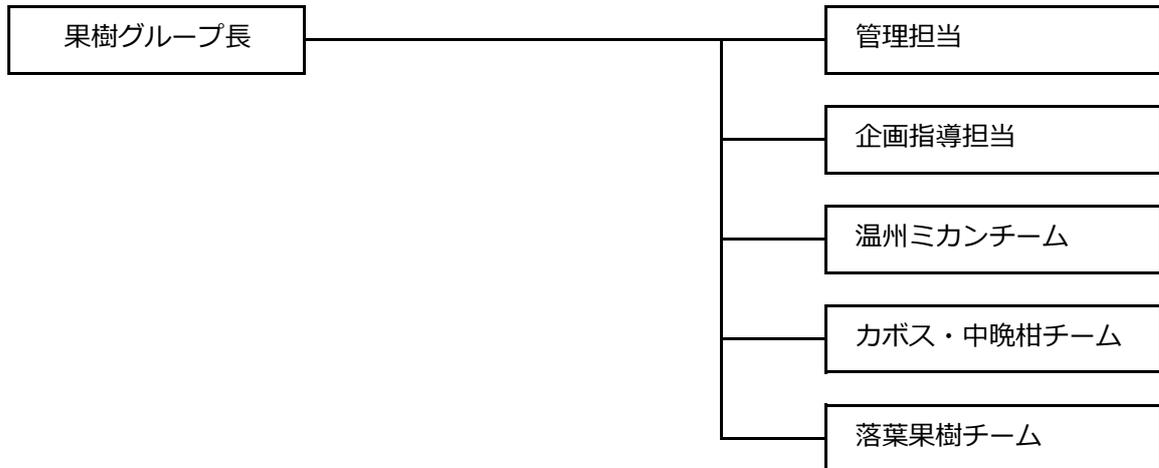
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
水稻早生品種「なつほのか」の実証圃設置および栽培指導	現地実証圃での栽培技術指導を行い、令和6年度の面積拡大を図る。	県下全域23箇所の現地実証および巡回指導を行い、栽培暦、栽培マニュアルを作成した。

II-3 農業研究部果樹グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
グループ長		1					1	
管理担当	1						1	
企画指導担当		1					1	
温州ミカンチーム		4		1		1	6	
カボス・中晩柑チーム		4		1			5	
落葉果樹チーム		5			1	2	8	
計	1	15	0	2	1	3	22	

(3) 業務

- ①温州ミカンの露地栽培技術、スマート農業（ドローン）に関する試験研究
- ②カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ③落葉果樹の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ④ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究
- ⑥生産者に対する研修及び現地指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ キウイフルーツの栽培技術の開発				
1) 新規参入者にやさしいキウイフルーツ栽培技術開発	落葉果樹		R4~6	県単
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ かんきつ品種の育成と栽培技術の確立				
1) 県南カンキツ主要品種の生産拡大に向けた栽培技術の開発	加糖・中晩柑		R5~7	県単
・ かんきつ優良品種の選定と栽培技術の確立				
1) カンキツの系統適応性検定試験	温州ミカ 加糖・中晩柑		R4~6	県単
・ ハウスみかんの省工ネ及び高収益栽培技術の確立				
1) ハウスミカンの着花安定と垣根仕立て栽培の低樹高省力栽培技術の確立	温州ミカ		R3~6	県単
・ なし極早生品種の育成と栽培技術の確立				
1) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹		R4~6	県単
・ 特色あるワイン専用品種の育成及び栽培技術の確立				
1) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹	三和酒類 (株)	R4~6	県単
・ 落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立				
1) ブドウの高収量栽培、早期成園化と新品種の安定生産技術の確立(第2期)	落葉果樹		R5~7	県単
2) 落葉果樹の系統適応性検定試験	落葉果樹		R4~6	県単
・ かぼすの周年安定出荷のための栽培及び貯蔵技術の確立				
1) カボス「大分果研6号」の産地導入に向けた生産貯蔵技術の確立	加糖・中晩柑		R4~6	県単
・ 果樹の病害虫防除体系の確立				
1) 果樹の病害虫防除並びに植物生長調節剤に関する試験			R4~6	県単 国庫
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 温州みかんの省力化技術の開発				
1) スマート技術の活用と新植栽方式による温州みかんの省力化技術の開発	温州ミカ	大分高専	R4~6	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省工ネ・環境対策）				
・ 温暖化に適応可能な新たな果樹品目の探索と栽培技術の確立				
1) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカ		R4~6	県単
・ 施設果樹栽培におけるスマートCO2施用技術の確立と実証	温州ミカ		R6~8	国庫
・ 高温でも着色がよく収穫適期を判定しやすいブドウ品種候補の開発	落葉果樹		R6~8	国庫
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 生態調査	温州ミカ		長期	県単
・ 生態調査と優良穂木の管理	加糖・中晩柑		長期	県単
・ 農業情報の提供（生態調査）	落葉果樹		長期	県単
・ 優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の管理	落葉果樹		長期	県単
・ 地元ゆかりの動植物の保存	落葉果樹		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和4年度大分県農林水産研究指導センター 果樹グループ試験研究年報CD版	R5.10.26	128	100

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
矢野 拓ほか	直接計測法や間接推定法で評価した高収量 ハウスミカン樹冠構造の特徴	九州沖縄農業試験研 究の成果情報		
梅田武志ほか	3倍体カボス新品種「大分果研6号」の 特性	九州沖縄農業試験研 究の成果情報		
矢野 拓	ハウスミカンの誘引垣根仕立て 樹冠全面に連年結実させるための枝管理	現代農業	11	142
矢野 拓	誘引垣根仕立てによる受光態勢の最適化	農業技術大系	追録 第38号	技392 の14
山口竜一ほか	香酸カンキツの生態と栽培技術 カボス	カンキツ大辞典	第1刷	15
矢野 拓	果実成長の環境応答に基づく省エネルギー 栽培体系	カンキツ大辞典	第1刷	1151
矢野 拓	誘引垣根仕立てによる受光態勢の最適化	カンキツ大辞典	第1刷	1163
梅田武志	3倍体カボス「大分果研6号」の特性	園芸学会九州支部研 究集録	31	24
姫野 悟	カンキツ「大分果研4号」の高品質化技術 の確立	果実日本	78巻 11月号	52
野村 雄太	大分県におけるカンキツ害虫の最近の動向 と防除策	果実日本	78巻 12月号	14
矢野 拓	ハウスミカン誘引垣根仕立て栽培の普及拡 大に向けた取組み	果実日本	78巻 12月号	47
笠木 啓喜	「改良流線型仕立て」の開発	果実日本	79巻 1月号	66

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.9.13	園芸学会九州支部第63回大会	梅田武志	3倍体カボス「大分果研6号」の特性
R6.3.15	日本農業気象学会 2024年全国大会	田邊秀和・矢野拓・佐藤裕 一・竹田雅博	満開後60～150日までの施設内環境がウ ンシュウミカンの果実生産に及ぼす影響

(4) 研究成果発表会等

該当なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.6.2	ミカンバ工防除対策推進会議	WEB	20	地域農業振興課
R5.6.15	屋根かけデコポン栽培研修会	杵築市	30	JAおおいた
R5.6.16	シトラススクール	津久見市	12	津久見市農林水産課
R5.7.24	果樹専門技術研修	落葉果樹チーム	5	地域農業振興課
R5.9.16	大分県なし・ぶどう品評会	大分市	15	大分県園芸活性化協議会
R5.9.22	省エネ温度管理実証研修会	杵築市	20	JAおおいた杵築地域柑橘研究会青年部定例会
R5.10.6	みかん園等検査識別研修	大分市	30	地域農業振興課
R5.10.18	「大分果研6号」検討会	津久見市	15	園芸振興課
R5.11.20	課題解決研修	由布市庄内	15	地域農業振興課
R5.12.22	果樹病虫害防除暦検討会	JAおおいた本店	30	大分県園芸活性化協議会
R6.1.19	シトラススクール	津久見市	13	津久見市農林水産課
R6.1.29	青江小学校総合学習	津久見市	30	津久見市教育委員会
R6.2.1	省エネ温度管理実証研修会	国東市安岐町	20	国東市
R6.2.1	大分シャインマスカット若手生産者研修会	大分市	25	大分シャインマスカット若手生産者協議会
R6.3.12	大分果研6号実証圃試験説明会	大分市	24	園芸振興課
R6.3.14	農薬の適正使用研修会	落葉果樹チーム	4	北部振興局
R6.3.21	大分県ブドウ研究会研修会	JAおおいた安心院支店	50	大分県ぶどう部会研究部
R6.3.21	安心院ブドウ部会研究部学習会	JAおおいた安心院支店	20	安心院ブドウ部会

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	22	80
団体等職員	1	7
普及指導員	15	72
学生	7	28
児童・生徒	1	20
海外からの視察者		
その他	6	10
計	52	217

※大学

※小中高校

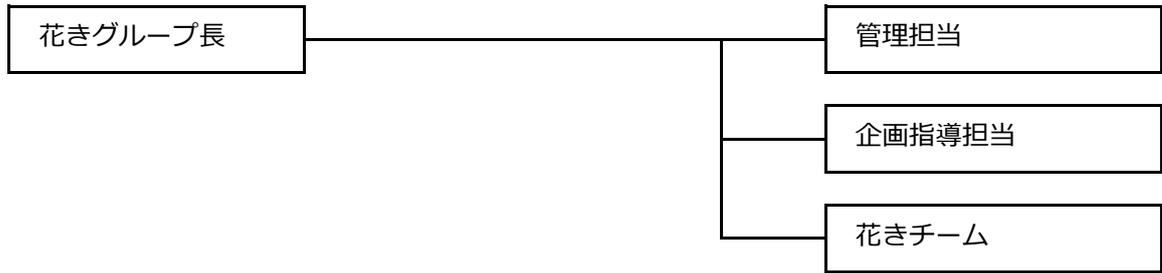
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

Ⅱ-4 農業研究部花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
グループ長		1					1	
管理担当	1						1	
企画指導担当		1					1	
花きグループ		6	2		1		9	
計	1	8	2	0	1	0	12	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発
- ③花きの研究成果の現地普及
- ④優良種苗の供給
- ⑤花き指導者、生産者に対する研修および現地指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ 高収益栽培技術の開発				
1) 情勢変化に対応したキクの栽培技術確立	花き		R4~6	県単
・ オリジナル品目の開発				
1) 「おおいたのホオズキ」多様化戦略	花き		R5~7	県単
・ 難防除病害虫防除技術				
1) 花き類における省力的防除技術体系の構築	花き		R3~5	県単
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発				
1) 新しい生活様式に対応した新規花き品目の探索と品目選定	花き		R3~5	県単
・ 統合環境制御技術の開発とマニュアル化				
1) スイートピーのスマート管理に向けたかん水・施肥技術の確立	花き		R4~6	県単
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立				
1) トルコギキョウの安定生産技術と新たな栽培技術の確立	花き		R5~7	県単
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発				
1) バイテクとICTの融合による効率的育種技術の開発	花き		R5~7	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 戦略品目や推進品目の育苗管理供給及び系統選抜				
1) イチゴ茎頂培養によるウイルスフリー苗の養成	花き		長期	県単
2) 優良種苗の供給	花き		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和4年度花きグループ試験成績書	R6.4.1	125	ホームページ掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

該当なし

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.12.7	令和5年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会遺伝子研究連絡会	安部良樹	大分県におけるバイテク研究
R6.1.24 ～1.25	令和5年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	岡本 潤	スイートピー硝酸イオン濃度の測定方法の検討
		安東俊彦	トルコギキョウLEDの効果
		小春仁菜	ハボタンの1～2月栽培技術の確立
		安部良樹	シンクロトロン光を用いたトルコギキョウ, ホオズキ, ヤマジノギクの突然変異育種

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
農林水産研究指導センター研究状況報告会	R5.11.20	水産会館	9	40

(花きグループから) シンクロトロン光による突然変異個体の獲得(中間報告)

発表者 主任研究員 安部良樹

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 4.24	ホオズキ現地調査、指導	大分市	5	中部振興局
R5. 4.27	スイートピー実績検討会	豊後高田市	10	北部振興局等
R5. 4.28	スイートピー実績検討会	佐伯市	10	南部振興局等
R5. 5. 1	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	5	久住高原農業高校
R5. 5.11	薬用作物定植指導	農業文化公園	5	農業文化公園
R5. 6. 6	花木PT指導	花きグループ	10	花木PT
R5. 7. 5	トルコギキョウ定植指導	久住高原農業高校	10	久住高原農業高校
R5. 7.13	農大プロジェクト課題計画検討会	農業大学校	10	農業大学校
R5. 7.19 ~21	花き専門技術研修	花きグループ	5	地域農業振興課
R5. 7.28	大分県花き展審査	いいちこ文化センター	20	地域農業振興課
R5. 8.21	鹿児島市花き連視察研修	花きグループ	15	鹿児島市花き振興連絡協議会
R5. 8.22	トルコギキョウ栽培指導	久住高原農業高校	5	久住高原農業高校
R5. 9.19	花き専門技術研修	花きグループ	5	地域農業振興課
R5. 9.19	トルコギキョウ品種見学会	久住高原農業高校	5	種苗メーカー等
R5. 9.21	ホオズキ実績検討会	全農おおいた	20	全農大分県本部
R5. 9.22	ヤマジノギク取引会議	全農おおいた	20	全農大分県本部
R5. 9.26	ヤマジノギク栽培指導	杵築市	10	東部振興局
R5. 9.27	農大プロジェクト課題計画発表	農業大学校	15	農業大学校
R5.10. 3	ヤマジノギク栽培指導	豊後大野市、竹田市	15	豊肥振興局等
R5.11.10	八女電照ギク部会青年部視察研修	花きグループ	6	八女電照ギク部会
R5.11.13	優良種苗供給連絡会議	全農おおいた	20	園芸振興課
R5.11.16 ~17	スイートピー取引会議、	全農おおいた他	15	全農大分県本部
R5.11.20	全日本花き審査会	熊本県合志市	20	(一社)日本種苗協会
R5.12. 1	花き専門技術研修	花きグループ	12	地域農業振興課
R5.12. 4	農大プロジェクト発表	農業大学校	20	農業大学校
R5.12. 7	プリンセスリーフ検討会	花きグループ	25	園芸活性化協議会
R5.12. 7	JA営農指導員研修	花きグループ	6	農業成長産業化推進室
R5.12. 7	トルコギキョウ品種展示会	花きグループ	30	園芸活性化協議会等
R5.12.14	農大プロジェクト、意見発表会	農業大学校	50	農業大学校

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 1.16	JA営農指導員研修	花きグループ	6	農業成長産業化推進室
R6. 1.17	ヤマジノギク試作検討会	花きグループ	10	園芸振興課等
R6. 1.17	ラナンキュラス種苗供給協議	杵築市活性化センター	6	杵築市活性化センター
R6. 2. 5	ラナンキュラス種苗供給協議	全農おおいた	10	全農大分県本部
R6. 2. 6	アカシア栽培指導	杵築市	5	東部振興局
R6. 2. 9	スイートピー栽培指導	佐伯市	8	佐伯市
R6. 2.19	佐伯豊南高校視察研修	花きグループ	20	佐伯豊南高校
R6. 2.20	アカシア栽培指導	由布市	5	中部振興局
R6. 2.27	サンゴミズキ挿し木指導	杵築市活性化センター	5	杵築市活性化センター
R6. 2.28	専門技術研修	花きグループ	5	地域農業振興課

（２）受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	3	43	
団体等職員	4	21	
普及指導員	10	162	
学生			
児童・生徒	1	20	※小中高校
海外からの視察者			
その他	542	1166	※一般来場者
計	560	1412	

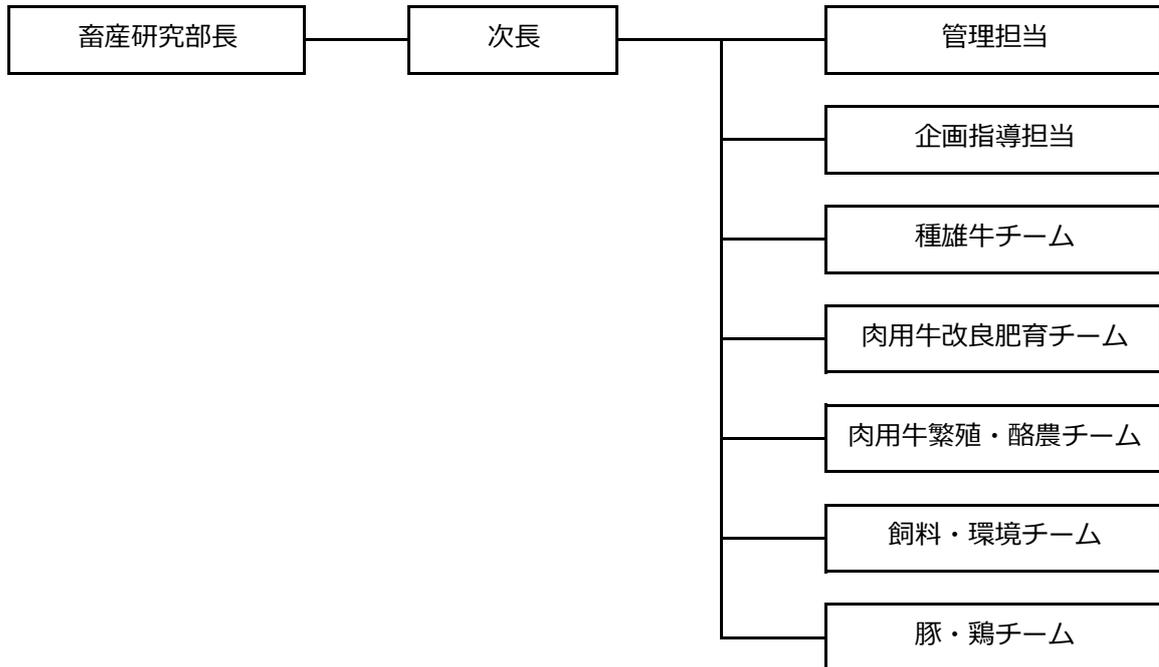
（３）指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II - 5 畜産研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
部長		1					1	
次長	1	2					3	
管理担当	4						4	
企画指導担当		2					2	
種雄牛チーム		2	1			2	5	
肉用牛改良肥育チーム		4	2	1		1	8	
肉用牛繁殖・酪農チーム		5	4			3	12	
飼料・環境チーム		3	3			1	7	
豚・鶏チーム		6	2	3		1	12	
計	5	25	12	4	0	8	54	

(3) 業務

- ①肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- ②肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ④牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤豚の育種、飼養技術並びに精液供給
- ⑥家きんの育種並びに飼養技術

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ 肉用牛・酪農の生産性向上と粗飼料基盤確立のための技術開発				
1) 周年親子放牧に適した牧草種による周年放牧の実証	飼料・環境		R3~5	県単
・ 気候変動に対応した飼料基盤の開発				
1) 越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な高位安定生産技術の開発	飼料・環境	農研機構	R4~8	イハバ
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ 子牛の哺育・育成技術の開発				
1) 早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立	肉用牛繁殖・酪農		R3~5	県単
・ 豚の低コスト飼料給与技術の開発				
1) 肥育豚への粃米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立	豚・鶏		R3~5	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 牛の受胎率向上技術の開発				
1) 高能力な乳用後継牛の確保に向けた受胎率の高い体外受精卵生産方法の検討	肉用牛繁殖・酪農		R4~6	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 優秀種雄牛の造成				
1) 種雄牛検定				
(1) 直接法	肉用牛改良肥育		長期	県単
(2) 現場後代法	肉用牛改良肥育		長期	県単
2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証	肉用牛改良肥育	家畜改良センター、関係各県	長期	県単
・ 牧草、飼料作物の優良品種・系統の選定				
1) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験				
(1) とうもろこし	飼料・環境	農研機構、九州各県	長期	県単
(2) イタリアンライグラス	飼料・環境	農研機構、九州各県	長期	県単
(3) ソルガム	飼料・環境	農研機構、九州各県	長期	県単
(4) オーチャードグラス	飼料・環境	農研機構、九州各県	長期	県単
(5) ペレニアルライグラス	飼料・環境	農研機構、九州各県	長期	県単
・ 高品質豚生産のための種豚改良 L・W・Dの系統維持・増殖				
1) 原種豚の改良維持及び増殖				
(1) ランドレース種の系統維持及び増殖	豚・鶏		長期	県単
(2) 大ヨークシャー種の改良増殖	豚・鶏		長期	県単
(3) デュロック種の能力維持	豚・鶏		長期	県単
・ 原種禽の系統維持及び増殖				
1) 原種禽の系統維持及び増殖				
(1) 「おおいた冠地どり」原種鶏	豚・鶏		長期	県単
(2) 「豊のしゃも」原種鶏	豚・鶏	熊本農研、宮崎畜試	長期	県単
(3) 「おおいた烏骨鶏」原種鶏	豚・鶏		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
2023大分県黒毛和種種雄牛	R5.6.1	38	1,000

※畜産研究部監修

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

該当なし

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.10.24 ~28	第7回日本胚移植技術研究会大会（群馬県大会）	三村純一郎	ウシ体外受精発生培養液への新鮮酵母エキス添加効果
R5.11.1	令和5年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会及び研修会	園川竜征	牛伝染性リンパ種清浄化への道
		三村純一郎	ウシ体外受精発生培養液への新鮮酵母エキス添加効果
		衛藤央好	周年放牧に適した牧草種による周年放牧の実証
		野仲美樹	「おおいた冠地どり」における廃棄率等低減に向けた活動報告（第一報）

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和5年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会 ※再掲：(3) 研究会、学会等	R5.11.1	県庁本庁舎 正庁ホール	4	50

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア 講習会、研修会等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 5. 18	令和5年度中津下毛和牛改良組合研修会	中津市内	20	中津下毛和牛改良組合
R5. 7. 27	アグリチャレンジスクール	豊後高田市内	10	豊後高田市就農支援センター
R5. 9. 7	山香町和牛改良組合研修会	山香町内	20	山香町和牛改良組合
R5. 9. 21 ～22	令和5年度大分県家畜商講習会	大分市内	10	大分県農林水産部
R5. 11. 29	三重東小学校5年生「職業講話」	豊後大野市内	20	豊後大野市立三重東小学校
R5. 12. 25 ～26	第24回和牛登録登記検査員認定講習会	山香町内	20	公益社団法人全国和牛登録協会
R6. 2. 2	西部家畜人工授精師会研修会	玖珠町内	20	大分県西部家畜人工授精師会
R6. 2. 14	削蹄研修	畜産研究部	8	公益社団法人大分県畜産協会
R6. 3. 15	県北人工授精師協会研修会	宇佐家畜保健衛生所	15	県北人工授精師協会
R6. 3. 18	日田式循環型農業推進協議会主催勉強会	大分県酪農業協同組合日田支所	40	日田式循環型農業推進協議会
R6. 2. 22	令和5年度豊後大野市家畜人工授精協会研修会	豊後大野市内	15	豊後大野市家畜人工授精協会
R6. 3. 5	令和5年度大分県分後牛生産者組織連絡協議会繁殖肥育合同研修会	大分市内	70	大分県豊後牛生産者組織連絡協議会、おおいた肉用牛振興協議会
R6. 3. 25	令和5年度豊後牛生産女性組織連絡協議会	大分市内	30	豊後牛生産女性組織連絡協議会

イ 畜産共進会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 7. 13	竹田市畜産共進会直入地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R5. 7. 27	竹田市畜産共進会久住地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R5. 8. 30	第16回豊後大野市畜産共進会	豊後大野市内	-	豊後大野市畜産振興協議会
R5. 8. 31	竹田市畜産共進会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R5. 9. 1	第19回佐伯市畜産共進会	佐伯市内	-	佐伯市畜産振興会
R5. 9. 4	第57回東部地域畜産共進会	杵築市内	-	東部地域畜産振興会
R5. 9. 6	第57回日田畜産品評会	玖珠町内	-	日田地域畜産振興会
R5. 9. 7	第118回玖珠郡畜産品評会	玖珠町内	-	玖珠群地域畜産振興会
R5. 9. 15	第56回大分地方畜産共進会	由布市内	-	中央地域畜産振興会
R5. 10. 6～7	第84回大分県畜産共進会肉牛の部	豊後大野市内	-	第84回大分県畜産共進会
R5. 10. 21	第84回大分県畜産共進会肉用牛の部	玖珠町内	-	第84回大分県畜産共進会

ウ 精液譲渡

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 4. 4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 4. 7	西部地域精液譲渡	玖珠家保	30	
R5. 4. 13	北部地域精液譲渡	宇佐家保	10	
R5. 4. 22	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R5. 5. 9	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R5. 5. 15	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 5. 16	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	20	
R5. 5. 17	西部地域精液譲渡	玖珠家保	30	
R5. 6. 5	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 6. 8	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R5. 6. 12	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R5. 6. 14	北部地域精液譲渡	宇佐家保	10	
R5. 6. 27	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	20	
R5. 7. 5	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R5. 7. 13	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 7. 14	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 7. 19	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	30	
R5. 8. 2	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	20	
R5. 8. 7	西部地域精液譲渡	玖珠家保	20	
R5. 8. 10	北部地域精液譲渡	宇佐家保	10	
R5. 8. 21	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R5. 9. 6	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R5. 9. 13	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 9. 14	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 9. 19	西部地域精液譲渡	玖珠家保	30	
R5. 10. 3	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 10. 6	西部地域精液譲渡	玖珠家保	30	
R5. 10. 13	北部地域精液譲渡	宇佐家保	10	
R5. 10. 19	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R5. 10. 24	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R5. 11. 7	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R5. 11. 13	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 11. 14	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	20	
R5. 11. 16	西部地域精液譲渡	玖珠家保	10	
R5. 12. 4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R5. 12. 7	西部地域精液譲渡	玖珠家保	20	
R5. 12. 14	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	10	

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 12. 25	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	20	
R6. 1. 10	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R6. 1. 16	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R6. 1. 17	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R6. 1. 18	西部地域精液譲渡	玖珠家保	30	
R6. 2. 2	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R6. 2. 7	西部地域精液譲渡	玖珠家保	30	
R6. 2. 14	北部地域精液譲渡	宇佐家保	20	
R6. 2. 21	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	30	
R6. 2. 26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	20	
R6. 3. 6	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	20	
R6. 3. 14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R6. 3. 15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R6. 3. 19	西部地域精液譲渡	玖珠家保	20	

（２）受入研修

①長期研修

対象者	研修内容	期間
研修生2名	大分県立農業大学校 就農準備研修（畜産コース）	R5. 4. 6～R6. 3. 5
受講者17名	家畜人工授精（牛）講習会	R5.11. 6～R5.12. 8
受講者6名	人工授精及び家畜体内受精卵移植（牛）に関する講習会	R5.6.19～R5.7.21

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	9	121
団体等職員	4	8
普及指導員	1	4
学生	3	68
児童・生徒	1	27
海外からの視察者		
その他		
計	18	228

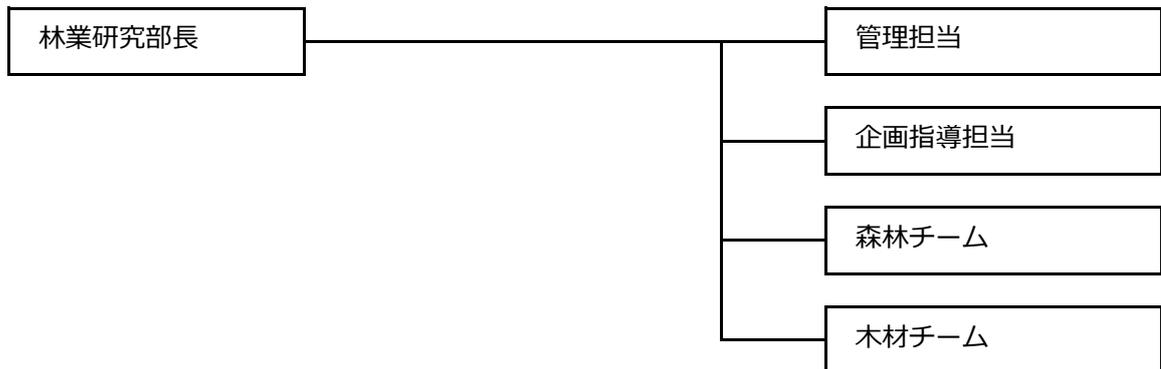
（３）指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II-6 林業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
部長		1					1	
管理担当	2						2	
企画指導担当		2					2	
森林チーム		5				1	6	
木材チーム		6					6	※1
計	2	14	0	0	0	1	17	

※1 (兼)産業科学技術センター製品開発支援担当主幹研究員1名

(3) 業務

<育種・育林の技術開発に関する試験研究>

- ①疎植造林による育林施業体系の開発
- ②スギ・ヒノキサシ木苗の生産性向上に関する研究
- ③大分県に適した早生樹の苗木生産・育林技術の開発

<環境を守る森林整備に関する試験研究>

- ④エリートツリー等の原種増産技術の開発事業のための調査等委託業務
- ⑤スギ花粉発源地域特定事業
- ⑥低コスト造林施業推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明

<県産材の需要拡大に関する試験研究>

- ⑦スギ心去り構造用製材等の品質に関する研究
- ⑧大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発

<その他>

- ⑨研究成果の情報提供、技術移転に関すること
- ⑩企業の技術支援、機械貸付に関すること

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ 造林樹種における優良品種の選抜				
1) スギ・ヒノキサシ木苗の生産性向上に関する研究	森林	-	R3~5	県単
2) 大分県に適した早生樹の苗木生産・育林技術の開発	森林	-	R3~5	県単
3) エリートツリー等の原種増産技術の開発事業のための調査等委託業務	森林	(国研)森林研究・整備機構、他	R5	受託
4) 低コスト造林施業推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明	木材	-	R3~5	県単
・ 低コスト育林技術の開発・実証				
1) 疎植造林による育林施業体系の開発	森林	-	R2~6	県単
・ スギ大径材の効率的な製材・乾燥技術の開発				
1) 大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発	木材	-	R3~5	県単
2) スギ心去り構造用製材等の品質に関する研究	木材	-	R4~7	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ スギ雄花着生状況調査(花粉飛散量予測と雄花生産量の把握)				
1) スギ花粉発生源地域推定事業	森林	-	-	受託 [全林協]

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和4年度林業研究部年報（第65号）	R5.9.29	64	200
林研だより（第85号）	R6.1.25	10	ホームページ掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
松本純	中津ミステリーサークルにみる植栽密度によるスギの成長、枯れ上がりの状況	GR現代林業	2023年6月号	3
古曳博也	スギ大径材の有効利用技術の開発 - 9丁取り正角材（母屋角）の特性 -	GR現代林業	2023年8月号	44-47
松本純	疎植造林検証モデル林での在来品種・精英樹・エリートツリー（4年生）の初期成長比較	林業新知識	2023年8月号 No.837	11
芦原義伸	第29回日本木材学会九州支部大会（大分）を振り返って	林業新知識	30巻号	32-33
松本純	大分県におけるスギさし木品種の変遷と地理的分布	九州森林学会 九州森林研究	令和6年3月 第77号	113-116
山本幸雄	長大スパンに対応する接着重ね材の開発	公立林業試験研究機関 研究成果集	No.21（令和6年 （2024）年3月）	49-50

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.9.7 ~9.8	第29回日本木材学会 九州支部大会	加茂明子	低コスト造林施業推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明-スギ品種や植栽密度が強度性能に与える影響-
		古曳博也	大分県産スギ大径材から製材した9丁取り正角材の材質調査
		山本幸雄	長大スパンに対応する接着重ね材の開発
R5.10.21	第79回九州森林学会大会	松本純	大分県におけるスギさし木品種の変遷と地理的分布
R6.3.8 ~3.11	第135回日本森林学会大会	松本純	低密度植栽における節及び枝の状況

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和5年度 農林水産研究指導センター 林業研究部 研究発表会	R6.2.6	林業研究部	3	55

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 5.13	技能向上研修「いす張り」	株式会社 ベストリビング	14	協同組合日田家具工業会
R5. 5.26	大分県の木材産業の現状と課題	大分県立 芸術文化短期大学	14	大分県立芸術文化短期大学
R5. 7. 5	林業全般基礎（Ⅱ）前期研修、試験研究 機関における実践研修	林業研究部	15	林務管理課
R5. 8. 1	大分方式乾燥材等について	林業研究部	3	
R5. 8.28	おおいた森林アカデミー研修「木材の活 用について」	林業研究部	11	(公財)森林ネットおおいた
R5. 8.30	大分県立農業高等学校講義	大分県立 農業高等学校	31	大分県立農業高等学校
R5. 9. 6	大分県立農業高等学校講義	大分県立 農業高等学校	31	大分県立農業高等学校
R5. 9.13	大分県立農業高等学校講義	大分県立 農業高等学校	31	大分県立農業高等学校
R5. 9.15	特定母樹・エリートツリー展示林視察	林業研究部	30	
R5. 9.22	林業種苗生産事業者講習会	大分県林業会館	29	森林整備室
R5. 9.29	フォレストワーカー集合研修（3年目） 「木材の特性」	大分県林業研修所	5	(公財)森林ネットおおいた
R5.10.11	低コスト造林施業推進に向けたスギ優良 品種の材質特性の解明	日田市森林組合田 島事務所	16	日田市林研グループ
R5.10.18	日田林工高等学校インターンシップ	林業研究部	3	大分県立日田林工高等学校
R5.10.25	苗木生産初心者研修	大分県林業研修所	20	(公財)森林ネットおおいた
R5.11.24	早生樹等の植栽について	林業研究部	10	
R5.12. 5	育林コスト低減に関する試験研究につい て（疎植造林・早生樹）	林業研究部	17	
R6. 1.30	令和5年度共同試験報告会	林業研究部	37	大分県樹苗生産農業協同組合
R6. 2. 1	木材各種加工機械について	林業研究部	2	
R6. 3. 5	早生樹並びにスギ大径材利用に関する研 修会	大分県庁舎	37	林務管理課
R6. 3.18	スギ、ヒノキに替わる樹種検討調査	林業研究部	2	
R6. 3.22	林業全般高度化研修	大分県庁舎	40	林務管理課

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	20	21	
団体等職員	84	257	
普及指導員	6	57	
学生	6	111	※大学
児童・生徒	1	3	※小中高校
海外からの視察者			
その他	45	125	
計	162	574	

③企業支援

区分	件数	金額(円)
依頼試験	13	654,697
機械貸付	171	183,060
技術相談	134	
企業訪問	38	
計	356	837,757

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II-7 林業研究部きのこグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
グループ長		1					1	
企画指導担当		3					3	広域普及員2名含む
きのこチーム		4				1	5	
計	0	8	0	0	0	1	9	

(3) 業務

- ①原木シイタケ栽培技術の改善・開発
- ②菌床栽培技術の改善・開発
- ③シイタケの機能性に関する研究
- ④きのこ類の品種改良・開発
- ⑤有用きのこ類の遺伝子収集及び保存
- ⑥研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑦病虫害等の防除技術の普及
- ⑧新規参入者の研修・技術指導
- ⑨栽培技術情報の収集・管理と情報発信

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・きのこ類のブランド化に向けた品種開発				
1) 乾シイタケ新品種の育成と生産技術の確立	きのこ		R5~8	県単
・しいたけの食味や機能性等の食品としての特性評価				
1) 乾シイタケの機能性成分の検証と商品開発	きのこ		R4~6	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・しいたけの生産力強化に向けた技術開発				
1) 乾シイタケ安定生産に向けた短時間散水技術の確立	きのこ		R5~7	県単
2) 発生量増大を目指したほだ木育成管理技術の開発	きのこ		R3~5	県単
3) 伏込量増大のための原木伐採・玉切り時期の研究（I）	きのこ		R4~6	県単
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
・クヌギチップや食品加工副産物等を利用したきのこ類栽培技術の確立				
1) 廃菌床等を利用した低コストシイタケ栽培技術の検討	きのこ		R3~5	県単
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・野生きのこ類の遺伝子収集と保存	きのこ		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
情報誌「くらんぷ」第54号	R6.3	7	1,500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
溝口泰広・山下和久	乾シイタケ原木栽培の早期ほだ化技術の確立	公立林業試験研究機関研究成果集	No.21 令和5年度	62-63

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.10.21	第79回九州森林学会大会	宮本 亮平	シイタケ廃菌床を用いた菌床シイタケ栽培
		溝口泰広・生野 柁大 ・有馬忍	乾シイタケ原木栽培における気象条件から見る発生予測の試み
R6.8.8	第26回日本きのこ学会大会	宮澤紀子・山下和久・ 飯田千恵美・吉本博明 ・江口文陽	乾シイタケ由来のだしの活用と嗜好特性の評価
R6.3.14	第74回日本木材学会大会	宮澤紀子・山下和久・ 飯田千恵美・吉本博明 ・江口文陽	乾シイタケの子実体部位が食品機能に与える評価

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和5年度きのこグループ研究発表会	R5.12.13	きのこグループ	研究発表 2 情報提供 1 特別講演 1	28

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア. 大分しいたけ源兵衛塾(第12期)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.7.20	第12期大分しいたけ源兵衛塾第5回研修会	玖珠町、九重町	22	大分県椎茸振興協議会
R5.11.1	第12期大分しいたけ源兵衛塾第6回研修会	日出町、豊後高田市	11	大分県椎茸振興協議会
R5.12.13	第12期大分しいたけ源兵衛塾第7回研修会	きのこグループ 豊後大野市	28	大分県椎茸振興協議会
R6.1.31	第12期大分しいたけ源兵衛塾第8回研修会	きのこグループ 豊後大野市	19	大分県椎茸振興協議会

イ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.8.20	令和5年度原木しいたけ新規参入者研修 第1回研修	きのこグループ	34	林産振興室
R5.9.15	令和5年度中部地区原木しいたけ栽培 新規参入者研修フォローアップ研修	きのこグループ	8	中部振興局
R5.9.26	令和5年度第1回原木しいたけ栽培 新規参入者ステップアップ研修	国東市	18	東部地区森林・林業活性化協議会
R5.10.15	令和5年度原木しいたけ新規参入者研修 第2回研修会	きのこグループ	26	林産振興室
R6.2.4	令和5年度原木しいたけ新規参入者研修 第3回研修会	きのこグループ	23	林産振興室
R6.2.21	令和5年度原木しいたけステップアップ研修会	宇佐市	20	大分北部地区・林業活性化協議会
R6.3.3	令和5年度原木しいたけ新規参入者研修 第4回研修会	きのこグループ	25	林産振興室

ウ. きのこ生産研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.7.5	令和5年度第1回しいたけ原基塾	きのこグループ	30	豊肥振興局
R5.7.11	第7回西日本森友の会夏季研修会大分大会	別府市	80	西日本森友の会
R5.8.3	国東町椎茸生産者連合会研修会	きのこグループ	11	国東町椎茸生産者組合連合会
R5.8.25	熊本県椎茸農業協同組合青壮年部夏季研修会	きのこグループ	12	熊本県椎茸農協協同組合青壮年部
R5.9.28	令和5年度第1回西部原木しいたけ栽培基礎研 修会	玖珠町	7	西部振興局
R5.10.16	令和5年度第2回しいたけ原基塾	竹田市	15	豊肥地区林業振興部
R5.10.24	令和5年度おのぼり会秋子研修会	竹田市	16	おのぼり会
R5.12.6	令和5年度佐伯市椎茸生産組合連合協議会乾し いたけ視察研修会	きのこグループ	19	佐伯市椎茸生産組合連合協議会
R6.1.12	令和5年度おのぼり会春子研修会	きのこグループ	12	おのぼり会
R6.1.16	久大地区椎茸生産者小組合日田分会研修会	日田市	25	久大地区椎茸生産者小組合日田分会
R6.1.18	令和5年度竹田市ほだ場コンクール審査会	竹田市	9	竹田市椎茸生産振興会
R6.1.23	令和5年度大分県森友の会冬季研修会	別府市	23	大分県森友の会
R6.1.25	令和5年度優良出荷者会議	別府市	53	大分県椎茸農業協同組合
R6.3.6	令和5年度第2回西部原木しいたけ栽培基礎研 修会	日田市	10	西部振興局

工. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.9.4	農業大学校農学部2年生作物栽培Ⅱ（椎茸）	きのごグループ	6	県立農業大学校
R5.12.12	令和5年度第4回森林・林業教育指導者育成研修会	きのごグループ	17	森づくり人材育成協議会

才. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.6.13	令和5年度試験研究機関における実践研修①	大分市 きのごグループ	6	林務管理課
R5.6.29	令和5年度林業普及活動情報交換会	大分市	30	林務管理課
R5.7.27	令和5年度試験研究機関における実践研修②	きのごグループ	2	林務管理課
R5.8.23	令和5年度試験研究機関における実践研修③	きのごグループ	1	林務管理課
R5.8.24	令和5年度試験研究機関における実践研修④	きのごグループ	1	林務管理課
R5.8.25	令和5年度試験研究機関における実践研修⑤	きのごグループ	1	林務管理課
R5.10.27	令和5年度広域普及指導員プロジェクト会議	きのごグループ	8	
R5.11.28	令和5年度試験研究機関における実践研修⑥	佐伯市	2	林務管理課
R6.12.26	令和5年度試験研究機関における実践研修⑦	きのごグループ	1	林務管理課
R6.2.14	令和5年度試験研究機関における実践研修⑧	佐伯市	2	林務管理課

力. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.4.20	令和5年度林業基礎技術習得研修	大分市	8	林務管理課
R5.10.17	令和5年度林業全般基礎（Ⅰ）後期研修 + 林業アカデミー生研修	きのごグループ	11	林務管理課 おおいた林業アカデミー

キ. 一般消費者関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.6.19	豊後大野市立新田小学校 第1回しいたけ教室	きのごグループ	16	豊後大野市椎茸振興会、 豊肥地区林業振興部会
R6.2.18	サステナブル椎茸教室「竹田food foresut」	竹田市	33	たけた食研究会

ク. 関係団体総会・会議

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.4.18	令和5年度豊後高田市椎茸生産組合総会	豊後高田市	20	豊後高田市椎茸生産組合
R5.4.25	令和5年度宇佐市乾椎茸栽培協議会総会	宇佐市	32	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R6.1.30	令和5年度第43回生椎茸部会総会	九重町	24	大分県農業協同組合玖珠九重生椎茸部会
R5.9.4	令和5年度第1回椎茸技術者会議	きのごグループ	11	きのごグループ
R6.1.15	令和5年度第2回椎茸技術者会議	きのごグループ	13	きのごグループ

ケ. 品評会関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5.4.17	令和5年度豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市	10	豊後高田市椎茸生産組合
R5.4.18	第15回竹田市乾椎茸品評会審査会	竹田市	16	竹田市椎茸生産振興会
R5.4.24	第17回宇佐市乾椎茸品評会審査	宇佐市	8	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R5.4.25	第12回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	16	豊後大野市椎茸振興会
R5.4.26	第3回国東市乾しいたけ品評会審査	国東市	7	国東市しいたけ振興会
R5.4.26	第14回由布市乾椎茸品評会審査会	由布市	10	由布市椎茸生産者協議会
R5.4.26	第53回大分市乾椎茸品評会審査	大分市	12	大分市椎茸生産組合
R5.4.28	佐伯市乾椎茸品評会審査	豊後大野市	13	佐伯市椎茸生産組合連合協議会
R5.4.28	第8回臼杵市乾椎茸品評会審査および講評	臼杵市	15	臼杵市椎茸振興協議会
R5.5.11	第66回大分県乾椎茸品評会箱物審査	大分市	10	大分県椎茸農業協同組合
R5.5.18	第66回大分県乾椎茸品評会袋物審査	大分市	20	大分県椎茸農業協同組合
R5.11.14	第35回大分県生しいたけ品評会	大分市	33	大分県椎茸振興協議会

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	28	556
団体等職員		
普及指導員	11	68
学生	1	6
児童・生徒	1	16
海外からの視察者	1	4
その他	5	91
計	47	741

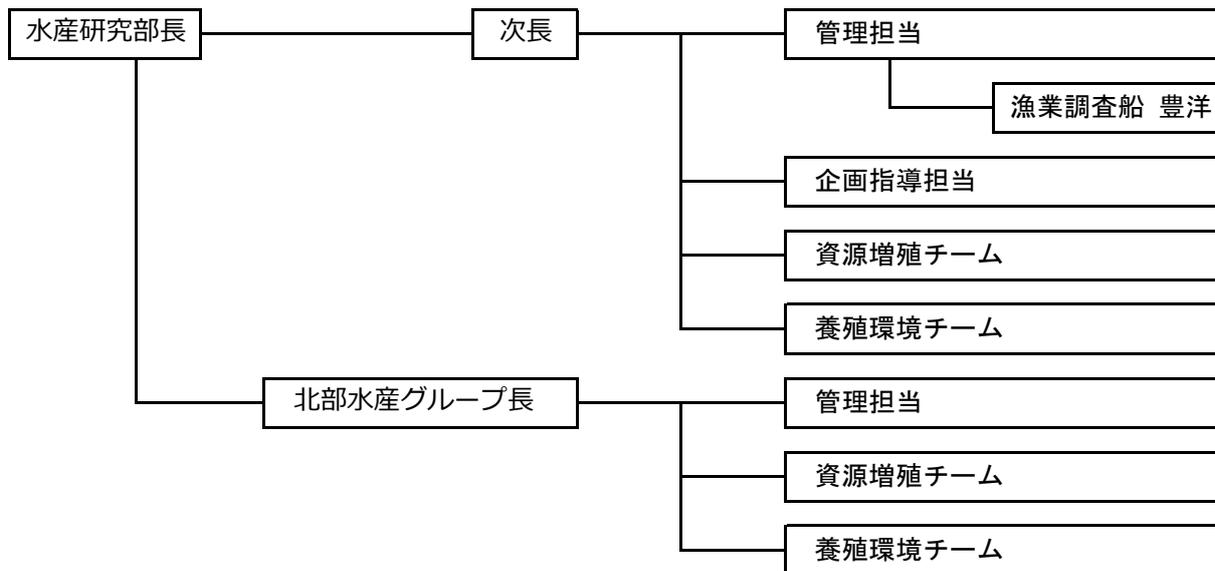
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
乾シイタケ原木栽培の単収向上技術の普及	夏場の高温を避けるため、林内伏せの技術の普及定着	普及員に対して林内伏せの作業指針示すとともに生産者に対して研修会での事例紹介や普及だよりで周知することで、新たな取組生産者10名を確保した。

II-8 水産研究部（北部水産グループ含む）

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和5年5月15日現在

組織	職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
水産研究部									
部長	長		1					1	海事職員6名
次長	長	1						1	
管理担当	担当	2	6					8	
企画指導担当	担当		2					2	
資源増殖チーム	チーム		7					7	
養殖環境チーム	チーム		8					8	
北部水産グループ									
グループ長	長		1					1	
管理担当	担当	1						1	
資源増殖チーム	チーム		5					5	
養殖環境チーム	チーム		5					5	
計		4	35	0	0	0	0	39	

(3) 業務

- ①漁業の調査研究に関すること
- ②漁業の生産および技術指導に関すること
- ③水産動植物の増養殖に関すること
- ④漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤水産動物の防疫等指導に関すること
- ⑥水産物の利用加工等指導に関すること
- ⑦内水面の増養殖技術の普及指導に関すること
- ⑧漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術に関すること
- ⑨その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題

(1) 水産研究部

試験研究課題名	担当	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム			
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ 養殖生産物の品質改善				
1) 新たな養殖技術開発 ～高品質で低コストな養殖魚生産を目指して～	養殖環境	高知大学 別府大学 大分大学	R3～6	県単
・ ブリ類養殖業生産体制強化促進事業				
1) 人工種苗による出荷端境期のブリ安定出荷体制の確立	資源増殖		R3～5	県単
2) 県内ブリ類養殖漁場ごとの出荷適正期間調査	養殖環境		R3～5	県単
3) 適正サイズに満たない天然モジャコの育成・種苗化技術の開発	養殖環境		R4～5	県単
4) モジャコ不漁時に対応できる人工種苗供給体制の確立	資源増殖		R4～5	県単
・ 複数形質に優れたブリの開発システムの構築	資源増殖		R5～9	諸経費 委託
・ ヒラメ耐病性家系の育種	資源増殖		R3～5	県単
・ ヒラメ養殖業成長産業化支援事業				
1) 他魚種の治療薬のヒラメへの承認拡大	養殖環境		R5～7	県単
2) 省力化に向けたスマート技術の開発	養殖環境		R5～7	県単
・ 養殖魚の抗病性強化法・新規ワクチン開発				
1) 安心・安全で環境に優しい養殖推進事業（クドア）	養殖環境		R2～	県単
2) 資源造成型栽培漁業推進事業（種苗検査）	養殖環境		R2～	県単
3) ブリ稚魚を対象としたイリドウイルス感染実験系の検討	養殖環境		R4	県単
4) 健全な海産養殖魚を生産するための魚病対策技術開発	養殖環境		R5～7	県単
5) ブリ等の人工種苗の普及により顕在化する新たな疾病リスクに対応するための効果的な抗菌剤使用法の開発	養殖環境		R5～	諸経費 委託
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 資源に関する基礎調査（モニタリング調査）	資源増殖	(国研)水産研 究・教育機構	H12～	諸経費 委託
・ 豊予海峡周辺海域におけるマアジ・マサバの資源生態に関する研究	資源増殖		H29～	県単・ 諸経費 委託
・ タチウオ資源回復推進に関する研究	資源増殖	(国研)水産研 究・教育機構	H26～	県単
・ 資源造成型栽培漁業推進事業（キジハタ放流手法開発）	資源増殖		R5～	県単
・ 海域戦略魚種増殖モデル構築事業	資源増殖		R5～	県単

IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
・ 磯焼け対策に関する技術開発(モニタリング調査)	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	H16～	県単
・ ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	R4～	諸経費委託
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発				
1) 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発				
(1) 赤潮防除・被害軽減手法の開発	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	R5	諸経費委託
2) IoT等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策	養殖環境		R3～R5	県単
3) 漁場環境保全推進事業（赤潮・貝毒発生監視）	養殖環境		長期	県単
4) 海洋保全型養殖推進事業費	養殖環境		R4～R6	県単
5) 未来につながる養殖環境創生事業	養殖環境		R5～7	県単
2) 研究分野：II 基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）				
・ 漁場環境改善推進事業のうち赤潮被害防止対策技術の開発				
1) 有害プランクトンの出現動態監視および予察技術高度化	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	R5	諸経費委託
・ 水産加工品等高度利用化指導（指導事業）	養殖環境		S61～	県単
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	資源増殖		H26～	県単
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供（情報提供事業）	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構	長期	県単委託
・ 天然アユ等のモニタリング				
1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査(アユ等)	資源増殖		R2～	県単
・ 養殖衛生管理指導事業（海面防疫対策）（指導事業）	養殖環境		H12～	国庫補助
・ 養殖漁場の適正利用推進調査（モニタリング事業）				
1) 養殖漁場の適正利用推進調査（モニタリング事業）	養殖環境		H12～	県単

2. 試験研究課題

(2) 水産研究部北部水産グループ

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)	チーム	機関	期間	区分
1) 研究分野：I 実用化研究（基本施策に基づき早期に課題解決を目指すもの）				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ 海藻の新たな養殖技術開発				
1) ヒジキ完全養殖技術の開発	養殖環境		R3~5	県単
・ スマート農林水産業の実現				
1) 電子遊漁券システムを活用した内水面漁業の資源管理の実証	養殖環境		R4~6	県単
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産、優良品種）				
・ ナマコ及びアサリ等二枚貝の種苗生産技術開発				
1) 高級二枚貝タイラギの種苗生産・増養殖技術・母貝団地造成技術の開発	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H27~	県単委託
2) 養殖カキのシングルシード人工種苗生産	資源増殖		R3~5	県単
・ 新規養殖種および増養殖手法の探索				
1) 高級キジハタ種苗生産技術開発	資源増殖		R2~6	県単
2) マダコ養殖の事業化に向けた飼育技術の高度化と普及	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、東京海洋大学、関係県他	R3~5	委託
・ 海藻類、カキ類、エビ類の種苗生産技術及び養殖技術の研修・指導				
1) クロメ養殖推進事業	養殖環境		H29~	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化）				
・ 資源に関する基礎調査（モニタリング調査）				
1) 資源評価関係調査	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H12~	委託
IV 地域資源等の活用と環境対策等の技術開発（地域資源、省エネ・環境対策）				
・ アサリ天然稚貝の利用と資源回復推進に関する研究				
1) 母貝としての天然稚貝の有効活用・養殖拡大の実証	資源増殖		R3~	県単
・ 栽培対象魚種技術開発事業（マコガレイ、クルマエビ）	資源増殖		R3~	県単
・ 無給餌養殖推進事業（カキ、アサリ、タイラギ、海藻）	資源増殖 養殖環境		R3~	県単
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発				
1) 豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	R5~R9	委託
2) 漁場環境保全推進事業（赤潮・貝毒発生監視）	養殖環境		-	県単

2) 研究分野：Ⅱ基礎調査研究（長期にわたり調査・分析・育種などを行うもの）

・ 持続的養殖生産確保推進事業（北部水域）（指導事業）				
1) 魚病診断と対策指導	養殖環境		H12～	国庫補助
・ 二枚貝の資源動向の把握および回復施策の検討				
1) 地域重要魚貝類の資源動向及び回復施策に関する研究	資源増殖		長期	県単
・ 有害生物漁業被害防止対策				
1) ナルトビエイ出現調査	資源増殖		－	委託
2) 外来魚・カワウ等による食害被害軽減対策指導	養殖環境		長期	県単
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	資源増殖		－	県単
・ 自主的資源管理体制高度化事業（クルマエビ）	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	R3～5	委託
・ 水産資源管理推進事業（キジハタ、マダコ）	資源増殖	(国研)水産研究・教育機構、関係県	R5	委託
・ ハモ等食品加工残渣を利用した効率的な操業支援実証事業	資源増殖		R3～R5	県単
資源環境に関するデータの収集、情報の提供（浅海定線調査、情報提供等）	資源増殖 養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、関係県	長期	県単 委託
・ ノリ養殖指導・情報提供	養殖環境		H23～	県単
・ 天然アユ等のモニタリング				
1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査	養殖環境		H21～	県単
・ 河川環境モニタリング				
1) 漁場環境保全推進事業（内水面）	養殖環境		H22～	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアクアニュース No.57	R5.10.3	19	ホームページ掲載
おおいたアクアニュース No.58	R6.2.16	7	ホームページ掲載
大分県農林水産研究指導センター研究報告水産研究部編第10号	R6.3.29	20	200部及び ホームページ掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
<u>渋谷駿太</u>	太平洋沿岸におけるサバフグ属魚類の出現状況	黒潮の資源海洋研究	第25号	7-21
H. Ishihara, S. Harakawa, H. Kawakami, <u>K. Yoshii</u> , N. Murase, <u>H. Yamada</u> , <u>Y. Fukuda</u> , R. Nozaki, S. Kawato, K. Koiwai, I. Hirono and H. Kondo	Whole- genome analysis of red sea bream iridovirus spread in 2021 in Japan provided epidemiological and viral traits insight	Journal of Fish Diseases	45	1593-1597
L. Wang, <u>K. Yoshii</u> , <u>N. Murase</u> , <u>H. Yamada</u> , <u>Y. Fukuda</u> , I. Hirono and H. Kondo	Type I interferon induced by polyinosinic-polycytidylic acid does not contribute to the efficacy of a formalin-killed cell vaccine against Edwardsiella piscicida in the Japanese flounder (Paralichthys olivaceus)	Fish and Shellfish Immunology	135	in press
<u>福田 穰</u>	生産現場における魚病対策と防疫体制の課題	養殖ビジネス	59(10)	13-16
紫加田知幸・ <u>宮村和良</u> ・ <u>野田 誠</u> 、浦 啓介・松尾 斉	足し網や生簀沈下による赤潮の魚類へい死軽減	養殖ビジネス	59(11)	37-41
<u>福田 穰</u>	レンサ球菌症(ラクトコッカス感染症)(ブリ類) 他16項目	新魚病図鑑 第3版(緑書房)	-	-
<u>宮村和良</u>	大分県沿岸域における赤潮発生状況とIoT技術利用による赤潮監視について	CAINES JournalJournal (※2)	No3	22-23
高橋明義・都留久美子・中島智優・ <u>野田 誠</u> ・古川 大・鈴木将平・中村良成・清水大輔・水澤寛太	緑色光照射のカレイ・ヒラメ類養殖への貢献	陸上養殖・スマート水産の技術と市場(シーエムシー出版)	-	-
<u>宮村和良</u>	新たな赤潮対策で養殖ブリの安定出荷と環境負荷の軽減を目指す	CAINES JournalJournal (※2)	No4	8-9
杉本 亮・西村碩教・ <u>宮村和良</u> ・太竹周作	ラドン222を用いた九州東部エリア海岸地域における海底湧水環境評価	月刊海洋	Vol.56 No3	151-155

※1 下線は当センター職員

※2 養殖場高度化推進研究センタージャーナル

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.9.3	令和5年度 日本魚病学会秋季大会	Muhammad AKMAL・ Keisuke YOSHII・Issei NISHIKI・Terutoyo YOSHIDA	Genomic comparison, stability, and conjugation analysis of erythromycin resistant plasmids in <i>Lactococcus</i> <i>formosensis</i> (serotype II)
		磨谷虎之介・荒木香帆・ 南隆之・吉井啓亮・ 吉田照豊・西木一生	異なる凝集性を示す <i>Lactococcus</i> <i>garvieae</i> III 型に関する研究
R5.9.11	日本比較免疫学会 第34回学術集会	椿野 鈴・吉井 啓亮・ 岡本 裕之・大野 薫・ 牧野 由美子・長澤 貴宏・ 杉本 智軌・中尾 実樹	エドワジエラ症耐性ヒラメの粘膜免疫因 子の探索
R5.9.20	令和5年度九州・山口ブロック 水産試験場長会「漁場環境分 科会」	野田 誠	IoTを用いた監視システムによる養殖マグ ロの斃死要因の解明
R5.9.21	日本水産学会秋季大会	村瀬 昇・阿部真比古・ 野田幹雄・白樫 真・ 門田 立・藤野くるみ・ 邵 花梅・清本節夫	褐藻アントクメおよびクロメが生育する 深場の光量
		阿部真比古・村瀬 昇・ 野田幹雄・門田 立・ 藤野くるみ・白樫 真	沖出しコンブ目種苗の脱色現象に及ぼす 強光と紫外線の影響
R5.10.2	令和5年度九州・山口ブロッ ク水産試験場長会「磯焼け・ 藻場造成分科会」	白樫 真	簡易的な藻場形成阻害要因の推定手法と 今後の磯焼け対策
R5.10.3	Asia Pacific Marine Biotechnology Conference 2023	Hidehiro Kondo, Yuki Ishida, Yuki Tanabe , Germaine G. K. Lau, Kumiko Tsuru, Chihiro Nakashima, Shota Yasuhara, Keisuke Yoshii, Naoya Murase, Hidetoshi Yamada, Tomoyuki Hara, Yutaka Fukuda, Ikuo Hirono	The challenge of developing a vaccine against skin flukes in <i>Seriola</i> fish species
R5.10.11	令和5年度中央ブロック資源 海洋調査研究会	渋谷駿太	太平洋岸におけるサバフグ属魚類の出現 状況
R5.11.21	第43回九州・山口ブロック魚 病分科会	吉井啓亮	Ⅲ型レンサ球菌に対するシマアジの感受 性

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R5.11.27	4th International mini-Symposium on the Control of Aquatic Animal Disease 2023	Hidehiro Kondo, Tatsuyoshi Kikumoto, Wang Liu, Keisuke Yoshii, Naoya Murase, Hidetoshi Yamada, Yutaka Fukuda and Ikuo Hirono	Adjuvant effects of type I interferon against an intracellular pathogen in Japanese flounder <i>Paralichthys olivaceus</i>
R5.11.27	令和5年度九州・山口ブロック水産試験場長会「漁業資源分科会」	渋谷駿太	大分県太平洋南区における南方系魚種の出現状況
R5.11.29	瀬戸内海水産環境研究集会	和田宗一郎	豊後水道大分県海域におけるマアジ産卵期の変化とその要因の考察
R5.12.14	令和5年度魚病症例研究会	吉井啓亮	Ⅲ型レンサ球菌に対するシマアジの感受性
R5.12.16	第10回大分自然環境研究発表会	伊藤龍星・原 朋之・白樫 真・平澤 敬一・平川千修	中津市沿岸に生息する希少生物ヒガシナメクジウオ
R6.2.13	令和5年度アユ疾病研究部会	朝井隆元	養殖場におけるPaPVモニタリングによる被害軽減対策の問題点
R6.2.19	令和5年度九州・山口ブロック水産試験場長会「アサリ分科会」	高橋杜明	大分県におけるアサリ調査の近況
R6.3.9	令和6年度日本魚病学会春季大会	Theeyathart HOMSOMBAT・Keisuke YOSHII・Fuyuka MUROTANI・Tomoyuki HARA・Yutaka FUKUDA・Keiichiro KOIWAI・Ikuo HIRONO・Hidehiro KONDO	Comparative genomics of <i>Edwardsiella piscicida</i> isolated from diseased Japanese flounder (<i>Paralichthys olivaceus</i>) in 2023
R6.3.10	令和6年度日本魚病学会春季大会	吉野友晃・嶋原佳子・森本和月・中川徹優・高野倫一・原川翔伍・福田 穰・松山知正	国内から分離された <i>Lactococcus petauri</i> の海産魚に対する病原性およびワクチン効果
R6.3.24	日本藻類学会大会第48回大会	伊藤龍星・白樫 真	大分県佐賀関の食べる「くろめ」

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.3.29	令和6年度日本水産学会春季大会	野田誠・井口大輝・宮村和良	IoTを用いた監視システムによる養殖マグロの斃死要因の解明
		松成宏之・竹島利・関澤彩眞・今井正・西岡豊弘・亀井良則・増成伸文・原佐登子・中山博志・崎山和昭・山元慶・團重樹・伊藤篤	マダコの飼育現場でのアルテミア培養と栄養強化 マダコ養殖イノベーション事業-2
		竹島利・関澤彩眞・亀井良則・増成伸文・原佐登子・中山博志・崎山和昭・松成宏之・今井正・西岡豊弘・伊藤篤・團重樹	マダコ人工種苗の中間育成におけるシェルターの影響 マダコ養殖イノベーション事業-3
		崎山和昭・團重樹・榛葉絢子・相馬美聡・内海訓弘・伊藤篤	マダコ種苗の輸送条件の検討 マダコ養殖イノベーション事業-4

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和5年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	R6.2.3	水産会館	12	72

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R5. 6.22	令和5年度ヒラメ養殖関連事業説明会	大分県漁協佐伯支店	20	水産振興課
R5. 6.26	令和5年度ヒラメ養殖関連事業説明会	大分県漁協下入津支店	17	水産振興課
R5. 7. 9	地元産業魅力説明会	大分県立 佐伯鶴城高等学校	30	大分県立佐伯鶴城高等学校
R5. 7. 14	大分県水産養殖協議会 令和5年度魚類養殖講習会	さいき城山桜ホール	65	大分県水産養殖協議会
R5. 7.17	豊後水道北部海区漁業運営委員長・3市水産主 務課長連絡会議	大分県漁協臼杵支店	24	
R5. 7.19	漁業学校（赤潮調査技術）	臼杵市	1	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 7.20	豊後水道南部海区漁業運営委員長・市水産主 務課長連絡会議	大分県漁協佐伯支店	18	
R5. 8. 4	漁業学校（赤潮調査技術）	入津湾	1	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 8. 5	おさかな教室	臼杵市役所	20	うすき海のはんまもん漁業推進協 議会
R5. 8.16	漁業学校（ワクチン接種技術、魚類栄養学）	水産研究部	1	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 8.16	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	10	大分県水産養殖協議会
R5. 8.21	漁業学校（魚病診断技術、魚病学）	水産研究部	1	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 8.30	漁業学校（水産資源調査）	北部水産グループ	3	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 9.11	漁業学校（種苗生産）	水産研究部	2	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5.10.18 ～19	第19回CAINESセミナー	大入島 上浦ブリ養殖場	33	養殖場高度化推進研究センター
R5. 10.25	漁業学校（栽培漁業、海藻生態学）	水産研究部	1	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 11.4	第43回全国豊かな海づくり大会 ～おんせん県おおいた大会～ 1年前イベント『おおいた海博』	別府港第4埠頭		全国豊かな海づくり大会推進室
R5. 11.20	漁業学校（水産資源調査）	水産研究部	1	大分県漁業協同組合、水産振興課
R5. 11.30	漁業学校（栽培漁業、海藻生態学）	北部水産グループ	2	大分県漁業協同組合、水産振興課
R6. 2.21	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	1	大分県水産養殖協議会
R6. 3.9	令和5年度大分県タチウオ漁業者検討会	大分県水産会館	19	大分県漁業協同組合
R6.3.13	佐賀関一本釣りとお津まき網漁業との調整会 議	県臼杵土木事務所	24	大分県漁業協同組合
R6.3.15	大分県水産養殖協議会青年部会 養殖技術・経営向上対策講習会	大分県漁協佐伯支店	49	大分県水産養殖協議会
R6.3.15	大分県水産養殖協議会青年部会賛助会員懇談会	大分県漁協佐伯支店	10	大分県水産養殖協議会
R6.3.21	南部漁業青年協議会講習会	大分県佐伯総合庁舎	13	南部漁業青年協議会

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者			
団体等職員	1	16	
普及指導員			
学生	4	10	※大学
児童・生徒	6	138	※小中高校
海外からの視察者			
その他			
計	11	164	

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
マガキシングルシード 種苗の確保及び中間育 成技術の普及	適正な採苗場所・時期 及び採苗器を確立し、 2地区で流動調査及び 環境データをとりなが ら中間育成試験を実施 し、終日稼働する中間 育成装置装置を用いて の試験を1地区で実施 する。	<p>クペルと空きペットボトルによる天然採苗の比較試験ではクペルの方が付着数は多かったが、フジツボの付着が多く、カキを剥がしにくいいため、稚貝採取の作業性に問題があった。ペットボトルは剥がしやすく、採取しやすい反面、波浪等で付着していたものが落下した恐れがあり、その対策を講じる必要が考えられた。</p> <p>水産研究部地先の筏に垂下した（対照区）マガキは平均殻高29.78mmで、中間育成装置内で飼育した（試験区）マガキの成長は平均殻高26.86mmであった。鶴見地松浦地先の潮の行き交う棧橋下に垂下したマガキの成長は平均殻高34.63mmであった。</p> <p>今回の中間育成装置でもマガキの成長を促進させることはできなかった。飼育期間中に試験区内にホヤ類が多数発生し、カキに付着し、また終了時にヒラムシの寄生が確認され、これらの生物により生育が阻害されたものと考えられた。</p>

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
農林水産研究指導センター	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
○農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐 65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原 4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦 3456	0972-82-2837	0972-82-5322
落葉果樹チーム	872-0103	宇佐市大字北宇佐 65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見 710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
○畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住 3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
○林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原 35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2369	0974-22-4236	0974-22-6850
○水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦 194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
北部水産グループ	879-0608	豊後高田市呉崎 3386	0978-22-2405	0978-24-3061

令和5年度
(2023年度)
大分県農林水産研究指導センター業務年報

令和7年(2025年)3月発行

編集 大分県農林水産研究指導センター
発行

〒879-7111
豊後大野市三重町赤嶺 2328-8
TEL 0974-28-2074
FAX 0974-28-2052